令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会青少年支援室	はたちの集い開催事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

「はたちの集い」を通じて若者が松江の魅力を認識し、興味・関心を抱くことで地域への愛着を深めることにより定住促進や関係人口増につながるような機会とする。

目標　（何を達成するのか）

「はたちの集い」開催について広く周知し、参加の促進を図る。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
出席率（%）	77.14	78.39	85	85	85

事業概要

（数値目標の達成目標年度）
項目名　出席率（%）：2029（R11）年度
※令和4年度より式典の名称を「成人式」から「はたちの集い」に変更して実施。

〇開催日：1月（成人の日を含む3連休の中日に開催）
〇対象年齢：当該年度に20歳を迎える方
〇対象者数：約2,000人
〇企画立案・運営：当該年度対象者を中心に、一般公募により選出した委員で組織する実行委員会が行う。
〇内容：大人としての社会的責任・自覚を促すとともに、地域への愛着心の醸成を図り、定住促進や関係人口増につながるような場となるよう実施する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
新松江市合併20周年記念事業として「はたちの集い」を開催（R8.1.11開催、会場：くにびきメッセ） 出席者数1,487人　出席率78.39% ・実行委員会の開催 ・新松江市と20歳を迎える人の20年間の年表等を掲載したパンフレット作成 ・新松江市合併20周年記念映像や著名人のメッセージビデオ上映、記念撮影コーナーや松江に関するクイズコーナー、恩師メッセージの掲示等	「はたちの集い」の開催（R9.1.10） ・はたちの集い実行委員の募集 ・はたちの集い実行委員会開催（式典等の企画・運営方法について意見交換を行い決定） ・市内各企業等の団体に対し協力・連携依頼	「はたちの集い」の開催（R10.1.9） ・はたちの集い実行委員の募集 ・はたちの集い実行委員会開催（式典等の企画・運営方法について意見交換を行い決定） ・市内各企業等の団体に対し協力・連携依頼

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		3,209	3,477	3,477	3,734	257
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,209	3,477	3,477	3,734	257
歳入合計		3,209	3,477	3,477	3,734	257

課題	方向性
「はたちの集い」が松江の魅力を再認識し、定住促進や関係人口増を図る機会となるよう、工夫する必要がある。	「はたちの集い」が松江の魅力を再認識し、定住促進や関係人口増を図る機会となるよう、実行委員会で企画、運営方法を検討して進める。

教育委員会青少年支援室　　はたちの集い開催事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	はたちの集い開催事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4～5月	実行委員募集		
	6～12月	実行委員会の開催		
	1月	はたちの集い開催		
	2～3月	振り返り（事業報告）		

本事業に関する主要データ

【令和８年松江市はたちの集い】

式典開催状況

実行委員会活動状況

開催年	令和6年	令和7年	令和8年
開催日	1月7日（日）	1月12日（日）	1月11日（日）
会場		くにびきメッセ	
出席者数	1,441人	1,488人	1,487人
出席率	75.01%	77.14%	78.39%

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	58		
役務費	344		
委託料	3,332		
事業費計		3,734	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	UIターン促進事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）	数値目標					
UIターン希望者に対する支援や松江市の縁者への情報発信を行うことにより、松江市へのUIターン促進を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	UIターン者数	1,095	1,100	1,230	1,230	1,230
目標 （何を達成するのか）						
UIターン者の増加。						

事業概要

松江市へのUIターン希望者に対する相談対応、県外でのUIターンフェアにおける出張相談の実施により、UIターン者の増加を図る。また、UIターン相談登録者や希望者に、松江市の移住に関する情報発信を行い、将来的な松江市へのUIターンを促す

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
移住相談専門の職員配置、移住希望者の相談受付、対応。 県外でのUIターンフェア出張による松江の移住に関する情報発信。 （相談件数：大阪イベント56組94人、東京イベント78組107人）	移住相談専門の職員配置、移住希望者の相談受付、対応。 県外でのUIターンフェア出張による松江の移住に関する情報発信。	移住相談専門の職員配置、移住希望者の相談受付、対応。 県外でのUIターンフェア出張による松江の移住に関する情報発信。
達成度		
計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		10,455	14,410	14,410	10,096	−4,314
財源内訳	国・県支出金	14	50	50	36	−14
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,000	0	0	0	0
	一般財源	9,441	14,360	14,360	10,060	−4,300
歳入合計		10,455	14,410	14,410	10,096	−4,314

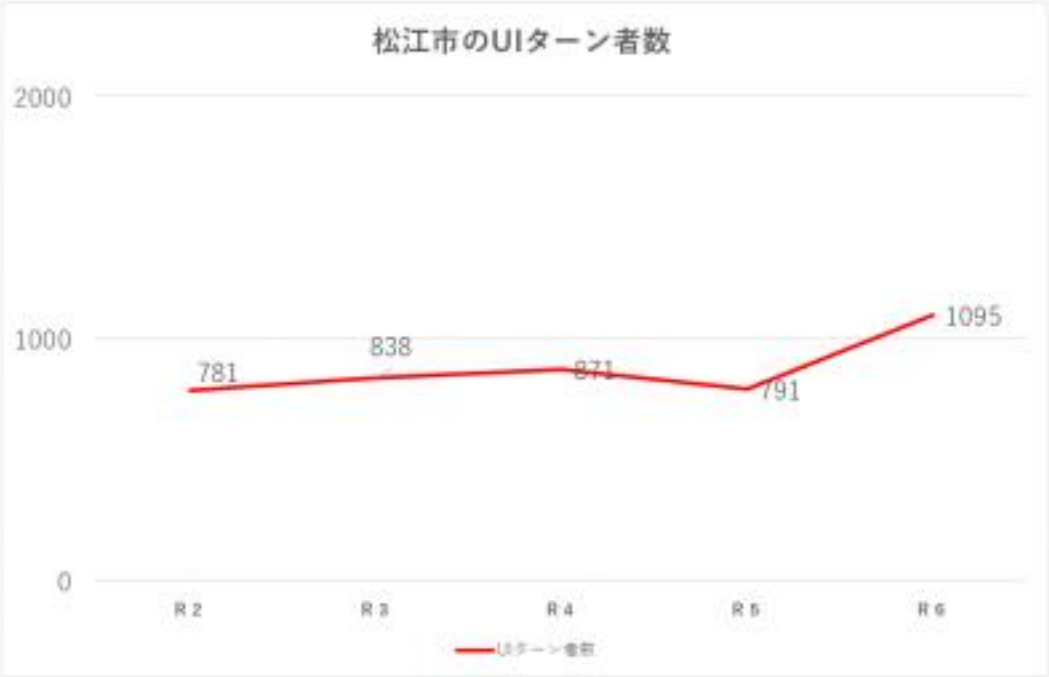
課題	方向性
他市町村に比べ、移住に関する支援メニューが少ない中で、「松江市」を選んでもらえるプロモーションをどのように行っていくかが課題。	今後も 県及びふるさと島根定住財団等と連携を深め、本事業や就業支援事業を継続的に実施する。

産業経済部定住企業立地推進課　　UIターン促進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	UIターン促進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	通年	移住相談		
	通年	県外出張による移住フェア参加、移住情報発信		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	4,509	委託料	519
職員手当等	1,748	使用料及び賃借料	207
共済費	1,124	負担金補助及び交付金	250
報償費	200	公課費	7
旅費	1,156		
需用費	126		
役務費	250		
事業費計			10,096

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

高校時代から地域や地元とのつながりを作ることにより、将来的なUターン志向の増加を促し、松江市への定住を視野に入れるとともに、居住地に関係なく地域の活性化に貢献したいと思う高校生を増やす。

目標 （何を達成するのか）

自分にとって魅力ある地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の増加。
将来、居住地に関係なく松江市の活性化に貢献したいと考える生徒の増加。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
地元企業の仕事等を知っている生徒(%)	41.8	46.3	80	80	80

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　地元企業の仕事内容や職場環境を知っている生徒の割合【対象生徒へのアンケート】:2029（R11）年度
松江市内2つの県立高校をモデル校とし、高校魅力化コンソーシアム運営マネージャーを配置することで、地元の産業や企業への理解を深めたり、卒業生ネットワークの構築を図る取り組みを推進する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
引き続き、松江南高校、松江商業高校にそれぞれコンソーシアム運営マネージャーを1名ずつ配置。 令和6年度同様、地元公民館、市内外の企業と連携して探究の学習やイベント開催を行うなど、生徒と地域プレイヤーの連携強化を図る取り組みを実施。	引き続き、学生と地域のつながりを強化する取り組みを実施する。 また、事業の方向性に認識のズレがないよう学校と市と定期的にミーティングを行う。	引き続き学生と地元・地域の連携を強化する取り組みを実施する。

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		7,982	9,304	9,304	9,746	442
財源内訳	国・県支出金	5,689	4,652	4,652	4,843	191
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,293	4,652	4,652	4,903	251
歳入合計		7,982	9,304	9,304	9,746	442

課題

・地元で働く若年社会人や地域で活躍する人との接点づくりを強化して生徒と接する機会を充実させるなど、将来的なUターン志向につながる取り組みを模索していく必要がある。

方向性

・それぞれのコンソーシアムの特色を出しつつ、探究の学習や地域活動を通じて、学生と地域のつながりをつくっていく。
・市内にあるすべてのコンソ―シアムに対しての支援も検討する。

産業経済部定住企業立地推進課　　高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	高校魅力化コンソーシアム運営マネージャー配置事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	通年	コンソーシアム運営マネージャー配置		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	5,986		
職員手当等	1,998		
共済費	1,387		
旅費	245		
役務費	64		
使用料及び賃借料	66		
事業費計		9,746	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	職業体験イベント開催支援事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

小学生から大学生まで、学生世代を網羅した地元就職意識の醸成および地元企業の魅力の向上を図る。

目標 （何を達成するのか）

地元経済界と連携して中学生向け職業体験イベントを開催し、中学生の職業理解と地元企業の認知度向上を推進する。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
数値目標になじまない					

事業概要

従前から行う小学生向けの職業体験イベント、高校生・大学生向けの企業セミナーに加えて、中学生を対象とした職業体験イベントを開催する。
・開催時期：11月26日（木）
・会場：くにびきメッセ 大展示場
・対象：市内中学2年生（約1,800人）

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
中学生を対象とした職業体験イベントを開催 ・開催時期：11月12日（水） ・会場：くにびきメッセ大展示場 ・対象：市内中学2年生 ・参加者：約1,800人	中学生を対象とした職業体験イベントを開催 ・開催時期：11月26日（木） ・会場：くにびきメッセ大展示場 ・対象：市内中学2年生 ・参加者：約1,800人	

達成度

計画目標に向かって概ね順調

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		9,701	10,000	10,000	11,900	1,900
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	9,701	10,000	10,000	11,900	1,900
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		9,701	10,000	10,000	11,900	1,900

課題

将来的な地元企業への就職につなげるためには、職業体験の機会の提供や、地元企業の情報を届けることが必要である。

方向性

「職業体験」を通じて、様々な職業、職種、仕事の魅力を紹介し、地元企業を知ることや就職への動機づけを行う。

産業経済部商工企画課　　職業体験イベント開催支援事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	中学生向け職業体験イベント開催事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	11月26日	職業体験イベント開催		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	11,900		
事業費計		11,900	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
政策部政策企画課	MATSUE DREAMS 2030推進費・ミライソウゾウ会議開催事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

松江市総合計画「MATSUE DREAMS 2030」に掲げた将来像「夢を実現できるまち 誇れるまち 松江」の創造にむけて、5つの基本目標、18の基本施策を掲げ取り組む。

目標　（何を達成するのか）

・各施策の徹底した評価と見直しを進めるため、総合的な調整を行う。
・若者の主体的なまちづくりへの参画を促し、本市への愛着を深める。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
出生数（人）※R3からの累計値	5,544	6,706	10,000	10,000	10,000
社会増減（人）※R3からの累計値	−1,359	−1,562	1,500	1,500	1,500
松江に愛着を持つ高校生・学生の割合（%）	73.3	67.1	74	74	75

事業概要

【MATSUE DREAMS 2030推進費】
・外部委員で構成する「松江市総合計画審議会」を開催し施策の検証を行うとともに、各施策の検証・見直しのための基礎資料として、市民アンケートを実施する。
【ミライソウゾウ会議開催事業費】
・総合計画の策定時から実施している「ミライソウゾウ会議」を、若者主体のコミュニティ形成とアイデアの実践に向けた学びの場として引き続き開設する。
（目標値の目標年度）
出生数（人）・社会増減（転入一転出）（人）：2026（R8）年度（2026（R8）～2030（R11））年度の5年間での目標として設定）
※2021（R3）年度に見直しを行い、以降は5年おきに目標となる数値を設定
松江に愛着を持つ高校生・学生の割合（%）：2029（R11）年度

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・松江市総合計画実施計画（R6～8年度）の策定 ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催	・松江市総合計画実施計画（R7～9年度）の策定 ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催	・松江市総合計画実施計画（R8～10年度）の策定 ・総合計画審議会の開催 ・まちづくりのための市民アンケート（市民・学生・高校生・中学生）の実施 ・ミライソウゾウ会議の開催

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		9,975	9,604	9,656	10,346	742
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	2,608	2,735	2,962	3,043	308
	一般財源	7,367	6,869	6,694	7,303	434
歳入合計		9,975	9,604	9,656	10,346	742

課題

・総合計画に掲げる将来像を市民・民間事業者と共有し、その実現に向けそれぞれの立場で行動するために、策定した計画をあらゆる世代に広く周知し、浸透させていく必要がある。
・ミライソウゾウ会議への参加をきっかけとして若者を地域活動へ繋げるとともに、その取組みを自走可能なモデルへと発展させる必要がある。

方向性

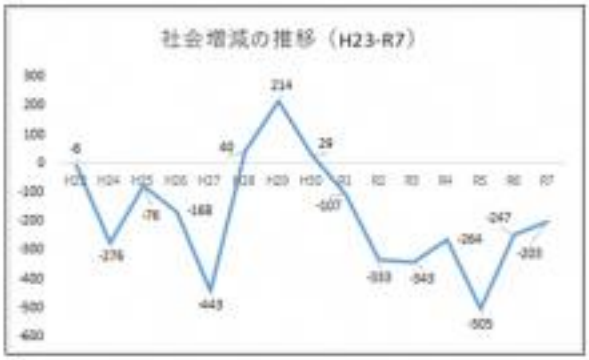
・計画に定めた数値目標及び重要業績評価指標（KPI）により各担当部局で施策の評価検証を行うとともに、外部委員で構成する「松江市総合計画審議会」の意見を踏まえ、効率的・効果的な施策の展開に繋げていく。
・総合計画策定時から開催しているワークショップ「ミライソウゾウ会議」を継続実施し、「夢を実現できるまち」の創造に向けた若者のまちづくりへの参画を促すとともに、若者主導のプロジェクトを生む場として、自走可能な仕組みづくりに取り組む。

政策部政策企画課　　MATSUE DREAMS 2030推進費・ミライソウゾウ会議開催事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	最近、松江に引っ越してくる人が多い
	主要施策	MATSUE DREAMS 2030推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月	総合計画実施計画の公開	8-3月	ミライソウゾウ会議
	5月	令和7年度実績値把握および効果検証、市民アンケート		
	7月	総合計画庁内推進委員会		
	8月	総合計画審議会		

本事業に関する主要データ



※数値目標：松江に愛着を持つ高校生・学生の割合
＝（学生、高校生のとても愛着を感じている人数＋愛着を感じている人数）／（学生、高校生の回答者数）

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	178		
需用費	863		
役務費	18		
委託費	9,287		
事業費計		10,346	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	テレワーク・デイズMATSUE事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

地域とのコミュニケーションを通じて関係人口を増やす「松江式ワーケーション」を、都市部の企業に訴求し、将来の移住・定住につなげる。

目標　（何を達成するのか）

1）松江式ワーケーションに参加した人数30人（R11年度単年）
2）利用企業数124社（R1～R11年度累計）※R1～R4年度：54社、R5～R11：126社

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
松江式ワーケーションに参加した人数（人）	34	79	30	30	30
利用企業数（社）	97	148	147	158	180

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　松江式ワーケーションに参加した人数【4月～3月】：2029（R11）年度（単年）
項目名　利用企業数：2029（R11）年度（累計）

快適なテレワーク環境や地域交流、ヘルスケアを取り入れた「松江式ワーケーション」の利用拡大を図るとともに、松江固有の魅力を体験していただく。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
「松江式ワーケーション」として、ストレスサイエンスや地域交流会を中心としたプログラムを提案し、51社79人を受入れ。	引き続き、利用者の声やアンケート結果を反映するとともに、民間の創意工夫を活かしてプログラムのブラッシュアップを行い、「松江式ワーケーション」の固有の魅力をPRすることで都市圏の企業および個人に訴求し、利用拡大を図る。	

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		4,317	3,522	3,522	3,515	−7
財源内訳	国・県支出金	1,819	1,647	1,647	1,292	−355
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,498	1,875	1,875	2,223	348
歳入合計		4,317	3,522	3,522	3,515	−7

課題

本市プログラムの特徴である、ストレスサイエンスやコミュニケーション（地域交流）については、都市部企業に高評価を得ているが、さらに、民間の創意工夫を活用したパッケージ商品として質の向上を図り、都市圏の企業および個人へ固有の魅力をPRする。

方向性

ワーケーション利用者と地元企業あるいは地域課題を抱える地域代表者との継続的な関係性を構築することで、関係人口の増加とともに将来の移住・企業誘致に繋げていく。

産業経済部定住企業立地推進課　　テレワーク・デイズMATSUE事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	テレワーク・デイズMATSUE事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	随時	ワーケーション受入		

本事業に関する主要データ

【これまでの主な取り組みの成果】

①富士通株式会社とのワーケーションパートナーシップ協定の締結

・富士通グループの社員8万人に対して、松江式ワーケーションの周知が図れた。

・モニターツアー（R4.10、R5.11）を実施し、参加者からプログラムのブラッシュアップに向けたフィードバックをいただいた。

・富士通及び同社取引先企業など４社による異業種交流ワーケーション（R7.10）を開催した。

②都市部企業と市内企業がビジネスマッチングにより、新規サービス開発について協業

③地域交流会での地域課題共有がきっかけとなり、新規コワーキングスペースが開設

④ワークショッププログラムの中で高校生の探究学習を支援

⑤過去にワーケーションを利用された企業が松江拠点を開設

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	116		
委託料	3,399		
事業費計		3,515	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	地域おこし協力隊事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

地域資源を活用し、磨きをかけて収益事業を創り、雇用の場を拡大して、地域の活性化を図る。

目標 （何を達成するのか）

・人口維持、地域の産業維持・活性化、地域振興。
・任期後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。
・中核CN、協力隊員の定着、拡大・創出した地域ビジネス数の目標値は、R11年度末の目標値

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
地域おこし協力隊定着率(%)	86	89	90	90	90
中核CN、協力隊員の定着（人）	23	25	27	30	36
拡大・創出した地域ビジネス数（累計、件）	20	22	24	27	33

事業概要

(数値目標の目標年度)
項目名　地域おこし協力隊定着率【任期終了後定住した隊員数/受入隊員数】:2029（R11）年度
松江の優れた地域資源を、それにかかわる地域の団体・企業等と共創・協働の精神により、一緒になって掘り起し、磨きあげ、収益の拡大や新たなビジネス・生業・新しい文化を創出し、地域の元気につなげる。
[地域おこし協力隊の活動]
・各隊員がそれぞれの知識・経験・能力を発揮し、チームとして相乗効果を発揮する。
・地域の生産拠点を活かし、地域の団体等と協働して収益増、起業、雇用の場を創出する。
・地域資源を使った商品やサービスの再生・開発・加工・流通・販売により、地域経済の好循環を図る。
・3年の任期を終えた後は、松江市で起業・就業し、定住につなげる。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を実施。 ・住民との協働や市の各部署との連携により、新たな取り組みを創造した。 ・次年度に向けた募集活動を行い、5名を採用。 ・8期生は、自身の起業・独立を見据えた実践的な取り組みを行い、いずれも松江に定住予定。2名の内1名は起業済み、1名は令和7年度中に起業予定。	・これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。 ・住民との協働や市の各部署との連携により、新たな取り組みを創造する。 ・次年度の採用に向け、募集内容の検討や採用活動を行う。	・これまで同様、地域と協働した取り組みを進めると同時に、退任した隊員の行うビジネスとの連携等も図りながら、より発展的な事業を行っていく。

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		39,702	58,297	58,297	67,337	9,040
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	630	930	930	456	−474
	一般財源	39,072	57,367	57,367	66,881	9,514
歳入合計		39,702	58,297	58,297	67,337	9,040

課題

・活動終了後を具体的に見据えた事業の推進が求められ、それに向けた伴走型の支援が必要。

方向性

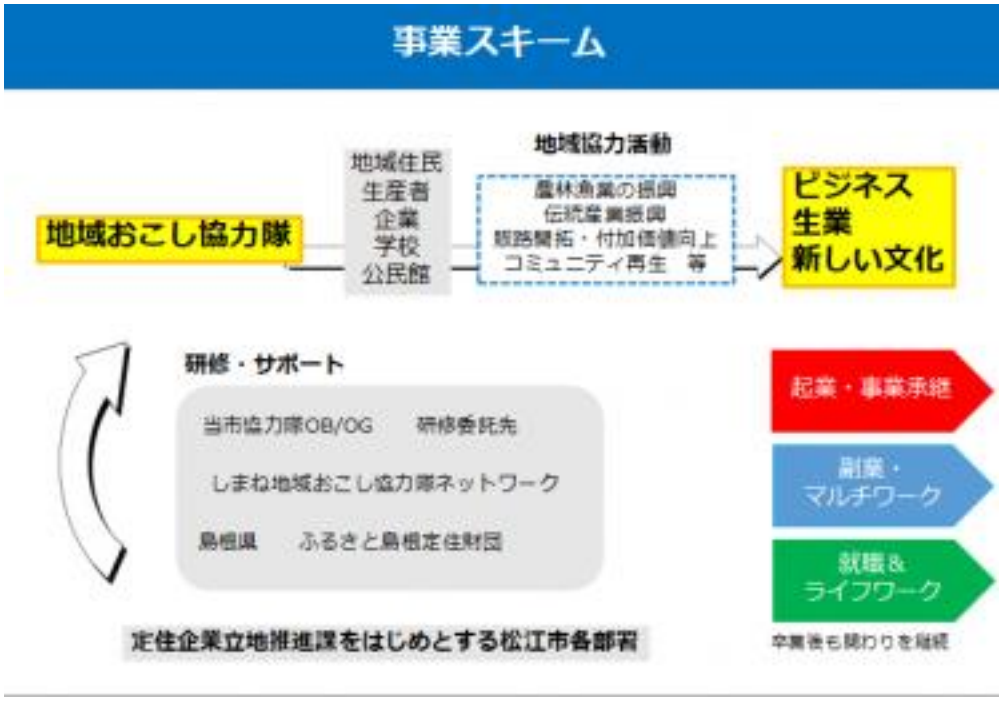
・本市の地域おこし協力隊の活動内容や特徴、成果、サポート体制を見える化し、移住フェアや募集イベントへの出展のほか、外部団体と連携し広く情報発信することで、採用活動の強化を図る。
・現役の隊員に向けては、起業・創業に向けた研修体制の充実を図り、定住につなげる。
・任期満了を迎え卒業した隊員についても、引き続き関わりながら、必要に応じて支援を行う。

産業経済部定住企業立地推進課　　地域おこし協力隊事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	地域おこし協力隊事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	通年	地域資源を活用した事業創出	10-11月	市長及び庁内報告会
	通年	地域おこし協力隊によるマルシェ等イベント開催	7-12月	次年度コーディネーター採用試験（一次・二次）
	4月	辞令交付(採用)	3月	辞令交付式(任期満了)
	6-12月	人財募集活動		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	28,360	委託料	1,982
職員手当等	8,390	使用料及び賃借料	4,022
共済費	6,401	負担金補助及び交付金	12,108
報償費	552		
旅費	3,272		
需用費	1,472		
役務費	778		
事業費計			67,337

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部商工企画課	ふるさとづくり寄附事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

松江市の魅力あるふるさとづくりに資する事業に対して寄附金を募り、これを財源として活用するとともに、ふるさと納税返礼品等を通じて松江市の魅力を全国に発信する。

目標　（何を達成するのか）

・関係人口の創出を図るため、寄附者数の増加を目指す。
・財源の確保を図るため、寄附金額の増加を目指す。
・特産品の情報発信を図るため、返礼品数の増加を目指す。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
ふるさと納税寄附者数【4月～3月】（人）	16,453	19,637	20,517	20,517	20,517
寄附金額（千円）	515,117	670,000	700,000	700,000	700,000
返礼品数（品）	1,058	1,400	1,500	1,500	1,500

事業概要

（数値目標の目標年度）
ふるさと納税寄附者数【4月～3月】（人）：2029（R11）年度
寄附金額（千円）：2029（R11）年度　　返礼品数（品）：2029（R11）年度
「ふるさと納税」と呼ばれる寄附金制度を取り扱う事業で、「松江市ふるさとづくり寄附条例」に基づき取り組んでいる。この税制では、個人が自治体に寄附した場合、２千円を除いた金額が税金から控除される。
市では、観光や産業の振興、歴史文化の保全継承、魅力あるふるさとづくりなどの事業に寄附金を活用している。また、５千円以上の寄附者には事業者等と協力し、国の基準に基づく返礼品を進呈している。
また、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税制制度）にも取り組んでおり、内閣府から認定を受けた市の事業に対して民間企業が寄附した場合、有利な控除を受けることができる制度であることから、民間活力を得ることで力強く地方創生を進めていく。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
◆まちのわふるさと納税を追加 ◆本市に訪れて楽しめる宿泊券や体験イベント返礼品の充実 ◆クラウドファンディング型ふるさと納税の実施 ◆小泉八雲・セツに関する返礼品のPR等を実施 ◆現地決済型のふるさと納税に係る加盟店の開拓及びPR。 ≪企業版ふるさと納税≫ ◆マッチング支援サービスの活用	◆引続き寄附者ニーズの高い返礼品の開拓・既存返礼品のブラッシュアップに取り組む。 ◆現地決済型のふるさと納税に係る加盟店の開拓及び更なるPR。 ◆クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、寄附の使い道に共感する新たな寄附者層の獲得を図る。 ◆公式SNSの開始、イベント出店等による寄附者の掘り起こし・リピーター施策 ≪企業版ふるさと納税≫ ◆企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの活用。 ◆特に寄附を募集する事業について、チ	◆引続き寄附者ニーズの高い返礼品の開拓・既存返礼品のブラッシュアップに取り組む。 ◆現地決済型のふるさと納税に係る加盟店の開拓及び更なるPR。 ◆クラウドファンディング型ふるさと納税を活用し、寄附の使い道に共感する新たな寄附者層の獲得を図る。 ◆公式SNSの開始、イベント出店等による寄附者の掘り起こし・リピーター施策 ≪企業版ふるさと納税≫ ◆企業版ふるさと納税マッチング支援サービスの活用。 ◆特に寄附を募集する事業について、チ

達成度

計画目標に向かって概ね順調

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		245,185	301,709	335,000	341,071	39,362
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	21,529	180,000	201,000	210,000	30,000
	一般財源	223,656	121,709	134,000	131,071	9,362
歳入合計		245,185	301,709	335,000	341,071	39,362

課題

●他地域にはない魅力ある返礼品の開発
●全国の寄附者への返礼品等の情報発信
●新規松江ファンの獲得及びリピーターの定着化
●寄附者情報の分析や他自治体の優良事例などの情報収集
●「企業版ふるさと納税」の市外企業への積極的な提案

方向性

〇中間管理事業者及び返礼品提供事業者と連携し、魅力ある返礼品の開発と返礼品の内容充実に取り組み、寄附件数、寄附額単価の向上を図る。
〇HPやSNS、メルマガ等を活用した情報発信力の強化。
〇取り組み強化の効果の検証や寄附者情報の分析を行うことで、サイトの特性に合った返礼品の掲載や返礼品提供事業者の利便性向上など今後の取り組みを強化。
〇企業版ふるさと納税マッチング支援サービスのさらなる活用。

産業経済部商工企画課　　ふるさとづくり寄附事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	ふるさとづくり寄附事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月～	ふるさと納税受付開始	通年	ふるさと納税・企業版ふるさと納税のPR
	通年	返礼品の随時募集		
	通年	魅力ある返礼品の開発		
	通年	企業版ふるさと納税マッチングサービスの活用		

本事業に関する主要データ

令和6年度 サイト別寄附実績

寄附受付サイト	寄附金額	割合
楽天ふるさと納税	177,987 千円	34.5%
ふるさとチョイス	113,797 千円	22.1%
さとふる	85,793 千円	16.7%
ふるなび	42,651 千円	8.3%
一休	26,708 千円	5.2%
三越伊勢丹	22,257 千円	4.3%
その他（その他4サイト、パンフレット、現地決済等）	45,932 千円	8.9%
合計	515,117 千円	100.0%

令和6年度 返礼品ランキング
（ジャンル別・寄附額順）

1位	宿泊券・旅行券	148,678 千円
2位	しじみ	72,909 千円
3位	しまね和牛	59,660 千円
4位	水産加工品	29,419 千円
5位	米	27,494 千円
6位	コスメ	15,343 千円
7位	みりん・料理酒	15,063 千円
8位	工芸品	13,517 千円
9位	カニ	12,834 千円
10位	ベビー・キッズ用品	12,188 千円

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,228	負担金補助及び交付金	198,157
職員手当等	864		
共済費	555		
旅費	312		
需用費	1,681		
役務費	106,639		
委託料	30,635		
事業費計			341,071

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	出身学生定住促進事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

学生自身の松江への想いの醸成をすることで本市との関係性を深め、ファーストキャリアとしての松江市内就業や将来的な転職、テレワークによるUターンなど、松江市内への定着につなげる。

目標 （何を達成するのか）

イベント参加者数：40人（R11年度）
イベント参加者満足度：80%（単年）

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
イベント参加者数（人）		15	25	30	40
イベント参加者満足度（%）		100	80	80	80

事業概要

本事業は「出身学生とのつながりづくり創出事業」の後継事業として、若者同士の交流イベントを開催して松江市出身者同士等のコミュニティ創出を図り、松江市内就業や将来的な転職、テレワークによるUターンなど、松江市内への定着につなげる。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・松江まちあるきクエスト 日にち：令和8年1月31日（土） 場所：松江市役所周辺、カラコロ工房周辺、松江市市民活動センター周辺など 参加者：15人（高校生、大学生など）	・交流イベント2回	・交流イベント2回

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		6,978	1,825	855	1,758	−67
財源内訳	国・県支出金	5,204	1,225	641	1,318	93
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,774	600	214	440	−160
歳入合計		6,978	1,825	855	1,758	−67

課題

・SNSが多様化しており、ターゲットとする生徒・学生たちへイベント情報を届けることが難しい。
・高校や大学等の年間スケジュールを加味した上でイベント実施日の設定に工夫と調整が必要。

方向性

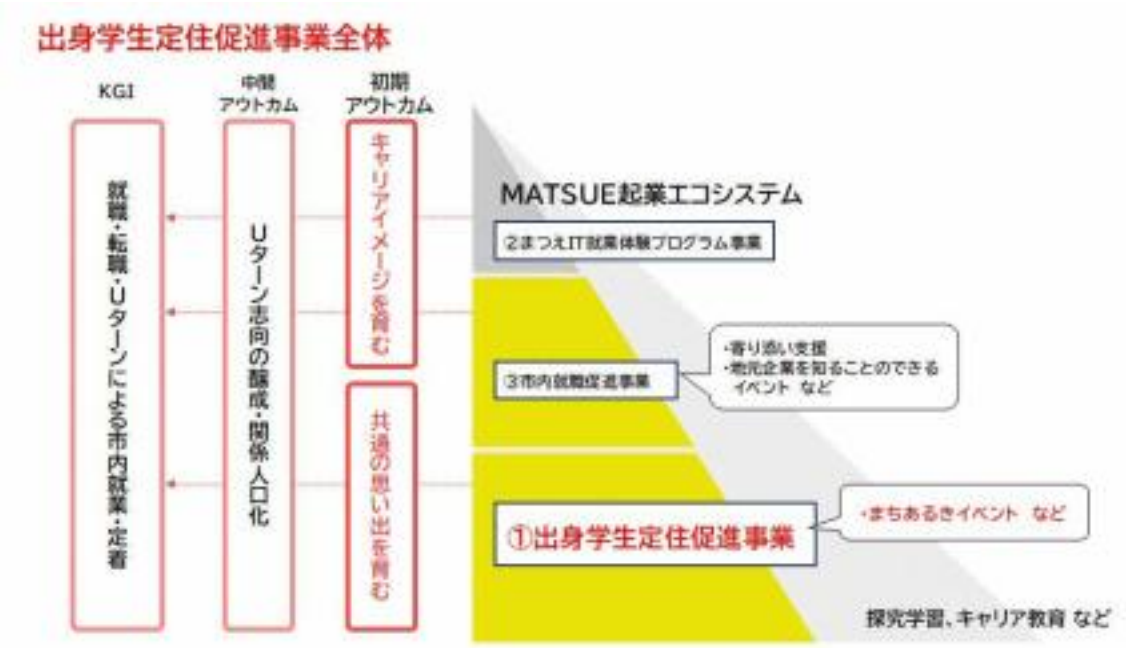
・県外の学校に通う学生も参加できるよう帰省時期にあわせてイベントを設定する。

産業経済部定住企業立地推進課　　出身学生定住促進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	出身学生定住促進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4-3月	事業実施		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,758		
事業費計		1,758	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	まつえIT就業体験プログラム事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

若年層の市外流出に歯止めをかけると共に、これまで本市が重点的に産業振興を行ってきた情報通信産業（IT産業）の人材不足解消を行う。

目標 （何を達成するのか）

就業体験プログラム参加者数：80人（令和11年度）

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
就業体験プログラム参加者数（人）		60	60	60	80

事業概要

・県内外の学生を対象として、IT業界や当市のIT産業施策の紹介や、スモウルビーなどのビジュアルプログラミング言語やノーコードツールを活用したアプリ開発体験を実施し、IT産業への就業体験の機会を提供する。
・IT業界や市内IT企業、働く人を知ることで就職時にIT業界・市内IT企業が選択肢となるような仕組みをつくる。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・主に非情報系学生を対象とした「まつえIT5Daysプログラム」と、情報系学部・学科の学生を対象とした「松江City Hack」を統合し、新たなIT産業への就業体験プログラムとしてリニューアルする ・これまで効果的であった島根県や関係機関と連携した周知活動を実施して参加者を募集する ・R6年度のプログラム参加者の市内IT業界への応募動向を調査し効果検証を行う ・市内高校生の見学受け入れを実施し、進学後のプログラムへの参加を促す	・これまで効果的であった島根県や関係機関と連携した周知活動を実施して参加者を募集する ・R7年度のプログラム参加者の市内IT業界への応募動向を調査し効果検証を行う ・市内高校生の見学受け入れを実施し、進学後のプログラムへの参加を促す	

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		0	3,040	2,759	2,952	−88
財源内訳	国・県支出金	0	2,168	2,062	2,102	−66
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	872	697	850	−22
歳入合計		0	3,040	2,759	2,952	−88

課題

・島根県外からの参加者を増やすため、島根県や関係機関と連携して参加者募集に努める
・特に「まつえIT5Daysプログラム」において、ITに苦手意識を持っている学生の参加にはハードルがあると考えられるため工夫したPRが必要

方向性

・「まつえIT5Daysプログラム」は主に非情報系の学生がIT業界と接点を持つための「初めの一歩」の後押しとして、「松江City Hack」は情報系の学生も含め、IT産業に興味関心のある学生がよりIT企業での就業をイメージできるような内容にする
・市内IT企業での就業体験を通じてIT企業を身近に感じ、非情報系でもチャレンジできる環境やサポート体制があることを体感し、就職先の選択肢に加わる内容にする

産業経済部定住企業立地推進課　　まつえIT就業体験プログラム事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	出身学生定住促進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	8-9月	事業実施（IT5）		
	11-12月	事業実施（CityHack）		
	3月	事業実施（マッチングイベント）		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	49		
委託料	2,750		
使用料及び賃借料	53		
負担金補助及び交付金	100		
事業費計		2,952	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
産業経済部定住企業立地推進課	市内就職促進事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

学生に対して距離感の近い寄り添った支援や、気軽に楽しく参加でき企業を知ることのできる機会を創出することで、学生の地元企業就職を促進させ、松江市内定着を目指す。

目標 （何を達成するのか）

イベント参加者数：30人（単年）
イベント参加者満足度：80%
相談件数（学生）（新規件数）：6件（単年）

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
イベント参加者数（人）		30	30	30	30
イベント参加者満足度（%）		80	80	80	80
相談件数（学生）（新規件数）			6	6	6

事業概要

・学生や若手社会人との人間関係を日常から構築し、企業や地域、自治体などと繋ぐハブとなる人材を配置する。同時に市内就職を検討する相談者の掘り起こしを行い、適切なタイミングで各種就職情報の提供や本市の就業支援コーディネーターへの紹介などを行う。
・高校生、大学生を主な対象とした地元企業を知ることのできるイベントを実施する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
①寄り添い支援（「就職支援コネクター」による学生等及び地元企業への支援） ②地元企業を知ることのできるイベントの実施 日にち：令和8年2月15日（日） 参加者：30人（予定）（高校生、大学生など）	①寄り添い支援（「就職支援コネクター」による学生等及び地元企業への支援） ②地元企業を知ることのできるイベントを実施	①寄り添い支援（「就職支援コネクター」による学生及び地元企業への支援） ②地元企業を知ることのできるイベントを実施

達成度

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		0	2,235	2,235	2,440	205
財源内訳	国・県支出金	0	1,675	1,675	1,830	155
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	560	560	610	50
歳入合計		0	2,235	2,235	2,440	205

課題

・松江の魅力への気づきや愛着向上を目指すとともに、地元企業を知る機会を創出することで「地元企業への就職と定住」を促進する取組を強化する。

方向性

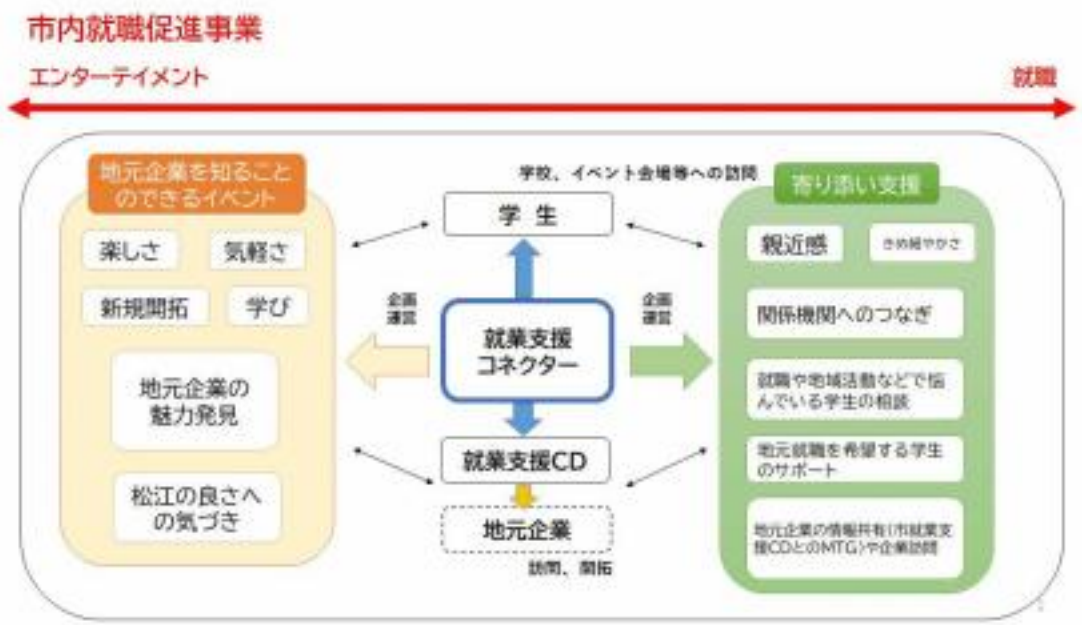
・学生に対して距離感の近い寄り添った支援や、気軽に楽しく参加でき企業を知ることのできる機会を創出する。

産業経済部定住企業立地推進課　　市内就職促進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	松江推しは世界中にいる
	主要施策	出身学生定住促進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4-3月	事業実施		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,440		
事業費計		2,440	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土行事等振興事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）	数値目標					
伝統行事や伝統文化の保存継承	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない					
目標　（何を達成するのか）						
・「松江祭鼓行列」及び「宵宮（前夜祭）」の開催 ・「菊花展」の開催						

事業概要

【松江祭鼓行列】
10月の第3土曜日と日曜日に、鼓保有町内及び鼓保有団体による宵宮（土曜日）と鼓行列（日曜日）を開催する。また、鼓行列保存会が実施する鼓まつりと参加団体の鼓や鼓庫の修繕を支援する。
（令和8年度参加予定数）
宵　宮：11団体
鼓行列：14団体
【松江菊花展】
10月中旬～11月初旬に文部科学大臣賞を最高位に松江城馬溜広場で作品展示会を開催。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
【鼓行列】10月19日（日）開催 110回目の鼓行列を実施。 ・参加団体：17団体（1,880人） 【宵宮（前夜祭）】 雨天のため、中止 【鼓まつり】 雨天のため、中止 【鼓修繕】 横浜町、北堀町、苧町の3団体の鼓等を修繕。 【菊花展】11月4日（火）～11月19日（水）開催 来場者数：[illegible]	【鼓行列】10月の第3日曜日に開催 111回目の鼓行列を実施予定。 【宵宮（前夜祭）】鼓行列の前日に開催 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で観光客や市民など鼓たたき体験を実施予定。 【鼓まつり】 松江城大手前駐車場にて開催予定 【鼓修繕】 各団体に希望調査を実施し、修繕する団体を決定する。 【菊花展】11月上中旬に開催 松江城馬溜で菊の展示を実施予定	【鼓行列】10月の第3日曜日に開催 112回目の鼓行列を実施予定。 【宵宮（前夜祭）】鼓行列の前日に開催 松江市内の橋北・橋南の計2箇所で観光客や市民など鼓たたき体験を実施予定。 【鼓まつり】 松江城大手前駐車場にて開催予定 【鼓修繕】 各団体に希望調査を実施し、修繕する団体を決定する。 【菊花展】11月上中旬に開催 松江城馬溜で菊の展示を実施予定
達成度		
計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		13,159	14,185	13,487	13,452	−733
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	0	1,020	1,020	0	−1,020
	一般財源	13,159	13,165	12,467	13,452	287
歳入合計		13,159	14,185	13,487	13,452	−733

課題

【鼓行列】
人口減少に伴い、参加者数が減少している。特にこどもの参加者確保が困難になっており、地域外からの参加や学校連携を検討する必要がある。
【菊花展】
・会員高齢化に伴い、出品者数が減少している。また、出品者が固定化していることから、より広く募集をかける必要がある。
・後継者の確保、育成が必要である。

方向性

【鼓行列】
鼓行列保存会の後継者育成と参加団体数の確保、ならびに市民への普及と浸透を図る。
【菊花展】
市報、ケーブルテレビ、チラシ等の媒体を利用して、菊花展の開催及び作品募集のPRを強化する。

文化スポーツ部文化振興課　　郷土行事等振興事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	5月	鼓行列第1回理事会（総会）開催		
	7月	鼓行列順決め		
	10月	鼓まつり、宵宮、鼓行列開催		
	10月～11月	菊花展開催		

本事業に関する主要データ

●鼓行列

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
構成団体数	31	31	31	31	31	31	31	31	31
参加団体数	21	16	17	中止	中止	14	16	16	17
参加人数	2,266	1,736	1,970	中止	中止	1,005	1,700	1,640	1,880

●宵宮（前夜祭）

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
参加団体数	7	12	9	中止	中止	6	9	中止	中止
観覧者数	5,000	9,000	7,000	中止	中止	5,000	7,000	中止	中止

●鼓まつり（水燈路に合わせて鼓行列約2週間前に実施）

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
参加団体数	10	7	8	中止	中止	6	中止	8	中止

●菊花展実績

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
出品者数	49	51	49	49	54	48	47	47	49
うち県内	40	42	42	41	48	42	44	44	49
うち県外	9	9	7	8	6	6	3	3	0
開催日数	16	14	15	14	15	16	16	15	16
会員数	67	63	63	62	71	68	79	78	53

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	4,200		
委託料	7,825		
負担金補助及び交付金	1,427		
事業費計		13,452	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	郷土芸能継承発展経費

事業の目的と目標

目的 （何のために）	数値目標					
本市の貴重な伝統芸能文化の継承、発展を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない					
目標 （何を達成するのか）						
地域伝統芸能祭の開催や保存団体等の支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。						

事業概要

【松江市伝統芸能文化保護育成協議会】
松江市の伝統行事の保護育成を目的とする松江市伝統芸能文化保護育成協議会（23団体）に対し補助を行う。
事業の目的：当協議会が行う伝統芸能等の啓発・発信にかかる取り組みや後継者の確保・育成に繋がる事業等に対し補助を行い、伝統芸能等に対する市民の理解を深めるとともに、これらの保存・継承を図る。
【松江伝統芸能祭、佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録15周年事業(神座)】
2年に1度開催する松江伝統芸能祭と、佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録15周年を記念する事業を同日開催する。保護育成協議会加盟団体他、ゲストに子ども佐陀神能教室や県外神楽団体を招聘する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体） ・活動助成（4万円/1団体） ・情報提供（各種支援制度など） ・後継者育成支援事業（3万円/1団体、各団体3年に1度申請可能）	松江伝統芸能祭、佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録15周年事業(神座)の開催 ・日程：令和9年3月7日(日) ・出演団体（仮）：加盟団体他9団体 ・会場：さんびる文化センタープラバホール 松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体） ・活動助成（4万円/1団体） ・情報提供（各種支援制度など） ・後継者育成支援事業（3万円/1団体、各団体3年に1度申請可能）	松江市伝統芸能文化保護育成協議会負担金（23団体） ・活動助成（4万円/1団体） ・情報提供（各種支援制度など） ・後継者育成支援事業（3万円/1団体、各団体3年に1度申請可能）
達成度		
計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		3,720	1,631	920	6,004	4,373
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	1,860	920	920	5,084	4,164
	一般財源	1,860	711	0	920	209
歳入合計		3,720	1,631	920	6,004	4,373

課題	方向性
地域の人口減少や保存団体の高齢化などの影響により、後継者の確保や活動の継続が難しくなっている。	継続して保存団体の支援を行うとともに、伝統芸能祭の開催や発信を通して、若い世代を含む多くの市民に伝統芸能文化の魅力に触れてもらい、継承・発展につなげていく。

文化スポーツ部文化振興課　　郷土芸能継承発展経費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	6月	松江市伝統芸能文化保護育成協議会総会		
	3月	松江伝統芸能祭		

本事業に関する主要データ

令和8年度松江伝統芸能祭

■加盟団体によるステージ公演(約6団体)
■松江市拳行列保存会による拳叩き体験(屋外)
■協議会加盟団体の伝統文化紹介パネル・体験
■飲食ブース
日程：2027/3/7予定　（午後）
会場：さんびる文化センタープラバホール

佐陀神能ユネスコ無形文化遺産登録15周年
－神座－

■ゲスト団体(神楽)の招聘・演舞(1団体)
■子ども佐陀神能教室による演舞
■佐陀神能保存会による演舞
過去:平成28年度(5周年)、令和4年度(10周年)
日程：2027/3/7予定　（午前）
会場：さんびる文化センタープラバホール

松江伝統芸能祭

	開催日	開催場所	出演団体数	出演者数	来場者数
令和4年度	2023/3/12	松江テルサ	11	130	1000
令和6年度	2025/3/2	プラバホール	7	110	222

周年事業-神座-

	開催日	開催場所	出演団体数	出演者数	来場者数
平成28年度(5周年)	2016/9/25	佐太神社舞殿	不明	不明	不明
令和4年度(10周年)	2022/10/2	佐太神社舞殿	5	50	1000

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	6,004		
事業費計		6,004	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	スピーチコンテスト事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）が文筆を通じて日本や松江を世界に紹介した功績をたたえ、作品を英語で暗唱することによって、青少年の英語表現力や国際性を高めることを目的としている。

目標　（何を達成するのか）

・小泉八雲作品の普及
・青少年の英語表現力の向上

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
参加者数（人）	39	52	50	50	50
県内参加人数（人）	21	34	30	30	30
参加校（校）	26	35	30	30	30

事業概要

（数値目標の目標年度）
参加者数（人）、県内参加人数（人）、参加校（校）　：　2029(R11)年度
「ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト」は、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）が文筆を通じて日本や松江を世界に紹介した功績をたたえ、作品を英語で暗唱することによって、青少年の英語表現力や国際性を高めることを目的に、年に1回、八雲の命日9月26日前後に松江で開催している。コンテストには、駐日アイルランド大使を招待しており、松江とアイルランドの交流の機会にもなっている。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
【日時】令和7年9月21日（日）9:30－18:00 【会場】さんびる文化センタープラバホール ジュニアの部：　29人 シニアの部　：　23人	【日時】令和8年9月20日（日）9:30－18:00 【会場】さんびる文化センタープラバホール ジュニアの部：　25人 シニアの部　：　25人	【日時】令和9年9月19日（日）9:30－18:00 【会場】さんびる文化センタープラバホール ジュニアの部：　25人 シニアの部　：　25人

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		1,075	1,214	1,214	1,320	106
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	1,214	1,214	1,320	106
	一般財源	1,075	0	0	0	0
歳入合計		1,075	1,214	1,214	1,320	106

課題	方向性
市内の学校からの参加者数が少ない	・教育委員会を通じて校長会等で各学校への参加協力依頼 ・SNS等を利用した情報発信の強化

文化スポーツ部文化振興課　　スピーチコンテスト事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	6月～8月	参加者募集		
	9月下旬	スピーチコンテスト開催		

本事業に関する主要データ

	50回 2016 H28	51回 2017 H29	52回 2018 H30	53回 2019 R1	54回 2020 R2	55回 2021 R3	56回 2022 R4	57回 2023 R5	58回 2024 R6	59回 2025 R7
合計	76	62	54	45	-	-	42	28	39	52
市内	31	27	20	21	-	-	13	12	14	18
市外	45	35	34	24	-	-	29	16	25	34
ジュニアの部	40	37	28	25	-	-	25	19	22	29
市内	18	16	10	12	-	-	7	6	7	7
市外	22	21	18	13	-	-	18	13	15	22
シニアの部	36	25	26	20	-	-	17	9	17	23
市内	13	11	10	9	-	-	6	6	7	11
市外	23	14	16	11	-	-	11	3	10	12

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	112		
役務費	42		
委託料	1,166		
事業費計		1,320	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	こども塾スーパーへるんさん講座事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

松江ゆかりの文学者である小泉八雲を顕彰するとともに、八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの

目標 （何を達成するのか）

講座を受講したこどもの豊かな心を育むとともに、国際社会への理解を深める。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
実施校数（校）	1	3	3	4	5

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　実施校数（校）　:2029(R11)年度

・小学生を対象に、松江ゆかりの文学者である小泉八雲について学ぶ場を提供することにより小泉八雲を顕彰するとともに、小泉八雲の感性を通じて松江や日本文化を再発見する機会とするもの。
・平成16年度から平成28年度は、市内の小学4年生から中学3年生までを対象に参加者を公募し、夏休みに実施していたが、平成29年度からは小学校と連携して実施するスタイルに変更した。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
以下の学校を対象に小泉八雲の学習を実施した。 【実施校】古江小学校（4年生）、恵曇小学校（3・4年生複式）、大野小学校（3・4年生複式）、松江ろう学校（聴講） 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき、発表	参加希望校を対象に小泉八雲の学習を実施する。 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき、発表	参加希望校を対象に小泉八雲の学習を実施する。 【内容】講義、五感を使った活動、まちあるき、発表

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		112	295	157	295	0
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	0	295	157	295	0
	一般財源	112	0	0	0	0
歳入合計		112	295	157	295	0

課題	方向性
市内の幅広い参加校の確保	引き続き教育委員会と連携し、これまで参加してこなかった学校にも参加を呼びかける。

文化スポーツ部文化振興課　　こども塾スーパーへるんさん講座事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	7月～12月	こども塾スーパーへるんさん講座開催		

本事業に関する主要データ

年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
参加者数	58人	60人	167人	50人	38人	42人	30人	79人
参加校数	1校	1校	4校	1校	1校	1校	1校	3校
参加校詳細	中央小4年	中央小4年	古江小4年 来待小4年 揖屋小4年 竹矢小4年	古江小4年	古江小4年	古江小4年	古江小4年	古江小4年 恵曇3,4年 大野3,4年 (ろう学校)

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	14		
需用費	10		
使用料及び賃借料	271		
事業費計		295	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	作品普及事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の功績をたたえ、その作品を対象とする感想文・詩の募集を行うことにより、八雲の作品の読書をすすめ、豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深めることを目的とする。

目標　（何を達成するのか）

「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施し、小泉八雲作品の普及および読書の推進をはかり豊かな心を育てるとともに、国際社会への理解を深める。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
応募作品数（件）	112	187	120	120	120
松江市内応募作品数（件）	7	17	20	20	20

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　応募作品数（件）　：　2029(R11)年度
項目名　松江市内応募作品数（件）　：　2029(R11)年度

小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の功績をたたえ、その作品を対象とする感想文・詩の募集を行う。
対象：国内外（制限なし）
部門：感想文（小学生、中学生、高校生、一般）、詩（一般）の4部門
賞：優秀賞、優良賞、佳作

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の募集事業を実施する。（感想文第40回、詩第37回） 応募数187作品（感想文133作品、詩54作品）	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の作品コンクール事業を実施する。（感想文第41回、詩第38回） 応募数（目標）120作品（感想文80作品、詩40作品）	小泉八雲の作品または小泉八雲の生涯に関する作品を対象とする「小泉八雲をよむ」感想文・詩の作品コンクール事業を実施する。（感想文第42回、詩第39回） 応募数（目標）120作品（感想文80作品、詩40作品）

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		292	305	305	314	9
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	305	305	314	9
	一般財源	292	0	0	0	0
歳入合計		292	305	305	314	9

課題

市内からの応募者が少ない（令和5年度：2名、令和6年度：7名、令和7年度：17名）

方向性

・教育委員会との連携強化
・他事業(こども塾スーパーへるんさん講座等)との組み合わせによる効果の増大
・SNS等を使用した情報発信強化

文化スポーツ部文化振興課　　作品普及事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	8月～12月	作品募集		
	2月	審査会		
	3月	表彰式		

本事業に関する主要データ

年度	感想文				小計	（俳句・）詩				小計	合計
	小学生	中学生	高校生	一般		小学生	中学生	高校生	一般		
R7	14 (8)	10 (2)	24 (4)	85 (3)	133 (17)	1	3	2	48	54	187 (17)
R6	3 (1)	18 (1)	4	52 (2)	77 (4)	2	0	2 (1)	31 (2)	35 (3)	112 (7)
R5	1 (1)	0	9	19 (1)	29 (2)	0	1	0	21	22	51 (2)
R4	5 (1)	5	12	23	45 (1)	0	0	0	28 (1)	28 (1)	73 (2)
R3	4 (1)	4	26	50 (2)	84 (3)	0	0	1	50 (1)	51 (1)	135 (4)
R2	27 (4)	9	25	66 (1)	127 (5)	1	0	1	50	52	179 (5)
R1	2	1	32 (1)	61 (2)	96 (3)	2	1	0	38	41	137 (3)
H30	19 (1)	6 (2)	11 (7)	29 (2)	65 (12)	0	1	2 (1)	26	29 (1)	94 (13)

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	35		
役務費	21		
委託料	258		
事業費計		314	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	茶の湯文化振興費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」・「松江市茶の湯条例」に基づき、茶の湯を通じた文化と産業の振興を図るとともに、将来へ発展的に継承し、「茶の湯のまち・松江」の実現を図る。

目標 （何を達成するのか）

茶の湯文化に触れる機会の創出・拡充

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
「茶の湯の日」PR協力店舗数（店）	38	38	40	40	40
「松江藩ちゃのゆの学校」受講者数（人）	109	80	80	80	80
茶の湯関連イベント参加者数（人）	2,513	2,763	2,600	2,600	2,600

事業概要

（数値目標の目標年度）
「茶の湯の日」PR協力店舗数(店)、「松江藩ちゃのゆの学校」受講者数(人)、茶の湯関連イベント参加者数(人):2029(R11)年度
【茶の湯の日】「松江市茶の湯条例」で制定した「茶の湯の日（4/24）」の機運醸成、市民の理解及び茶の湯文化関係事業者の振興を図るとともに、「茶の湯のまち松江」の実現のため官民連携して実施するもの。
【松江藩ちゃのゆの学校】主に茶道未経験者向けに「抹茶・お菓子のいただき方」「お点前のいろは」を教える出前講座を実施する。茶の湯文化を体験し、松江の茶の湯文化の歴史や意義を理解してもらい、後継者育成のきっかけづくりとするもの。
【茶の湯文化振興補助金】茶の湯文化体験イベントやシンポジウムを実施する団体へ補助を行う。
【松江城大茶会】日本三大茶会の一つとして、広く一般を含めた市民レベルの茶会として開催されており、「茶どころ松江」を市内外に発信することで観光振興にも寄与している。
【孤篷庵等茶会への出席】松平不昧公が再建した茶室 大徳寺孤篷庵で開催される茶会に出席する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
【茶の湯の日PR】 ポスター・のぼり掲示、茶の湯関連商品の特売、学校給食で抹茶特別メニューを提供 【茶の湯の日イベント】 ＜4/26・27＞＜11/2・3＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 【松江藩ちゃのゆの学校】 4団体計80人が参加 【松江城大茶会】 日程：10/25・26 会場：松江歴史館、他5カ所	【茶の湯の日PR】 ポスター・のぼり掲示、茶の湯関連商品の特売、学校給食で抹茶特別メニューを提供 【茶の湯の日イベント】 ＜4月・10月＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 【松江藩ちゃのゆの学校】 募集案内予定 【食文化シンポジウム】 日程・会場：未定 【松江城大茶会】 日程：10/24・25 会場：松江城二の丸ほか	【茶の湯の日PR】 ポスター・のぼり掲示、茶の湯関連商品の特売、学校給食で抹茶特別メニューを提供 【茶の湯の日イベント】 ＜4月・10月＞ 内容：茶の湯体験、菓子づくり体験 会場：イオン松江店 【松江藩ちゃのゆの学校】 募集案内予定 【食文化シンポジウム】 日程・会場：未定 【松江城大茶会】 日程・会場：未定

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		3,141	3,608	3,608	3,713	105
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	1,820	3,608	3,608	3,713	105
	一般財源	1,321	0	0	0	0
歳入合計		3,141	3,608	3,608	3,713	105

課題

・若い世代への茶の湯文化の継承
・茶の湯文化に関係する事業者との連携の強化

方向性

・市内茶道流派、和菓子店等と連携して「茶の湯の日」の取り組みを推進
・SNS等を利用した情報発信の強化

文化スポーツ部文化振興課　　茶の湯文化振興費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月	茶の湯の日イベント（春）の開催		
	10月	茶の湯の日イベント（秋）、松江城大茶会の開催		
	通年	茶の湯文化に関する情報発信、松江藩茶の湯の学校の開催		

本事業に関する主要データ

■「茶の湯の日」PR協力店舗

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
店舗数	56	62	45	47	43	38	38

■「茶の湯の日」市内給食提供数

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
提供数	170,000	194,000	20,100	20,000	18,000	15,000	15,000

小中学校生徒数参考

■松江藩ちゃのゆの学校

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
受講者数	8	0	0	34	82	109	60

＊1月現在

■茶の湯の日イベントの開催

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
参加者数	626	1,059	1,567	1,937	2,513	2,763

R7.4と11イベント合計参加者数

■食文化シンポジウムの開催

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
参加者数	200	30	中止	60	－	－	

＊3月開催予定

■松江城大茶会

年度	R3	R4	R5	R6	R7
参加者数	中止	1948	2658	2763	3,693
後援会数（社・団体）	中止	17	18	15	17

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	84		
旅費	149		
需用費	193		
役務費	11		
委託料	456		
負担金補助及び交付金	2,820		
事業費計		3,713	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	文化力を生かしたまちづくり推進事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）	数値目標					
市民の暮らしの根底にあり、市民の誇りとなりうる力「松江の文化力」を次世代に受け継ぎ、住む人、訪れる人、誰もが心豊かになれるまちを実現する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない					
目標　（何を達成するのか）						
伝統文化芸術の振興を図り、松江の文化力を生かしたまちづくりを推進する。						

事業概要

誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまちを目指して、令和3年3月に「松江の文化力を生かしたまちづくり条例（以下、「条例」）」を制定するとともに、「松江市伝統文化芸術振興計画（以下、「振興計画」）」を策定し、令和4年3月には、「松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画（以下、「実施計画」）」を策定した。
条例に基づいて、松江市伝統文化芸術振興審議会（以下、「審議会」）が振興計画の推進に関する施策や実施計画の評価・検証を行う。
【開催予定】
　令和8年度第1回審議会（令和8年9月）
　令和8年度第2回審議会（令和9年3月）
　※文化振興基金繰入金充当

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・パンフレット等による条例や振興計画の周知 ・審議会の設置及び開催 　第1回審議会：10月1日開催 　第2回審議会：3月23日開催(予定) ・「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」のローリング	・パンフレット等による条例や振興計画の周知 ・審議会の設置及び開催 　第1回審議会：9月下旬開催予定 　第2回審議会：3月下旬開催予定 ・庁内連絡会議の開催 ・「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」のローリング	・パンフレット等による条例や振興計画の周知 ・審議会の設置及び開催 　第1回審議会：9月下旬開催予定 　第2回審議会：3月下旬開催予定 ・庁内連絡会議の開催 ・「松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画」のローリング
達成度		
計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		223	623	623	643	20
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	223	623	623	643	20
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		223	623	623	643	20

課題	方向性
第1期実施計画の取組みを踏まえ、7つの柱に共通する「4つの課題」を設定。 ①効果的な情報発信 ②鑑賞・体験・学習の機会の確保 ③後継者・担い手育成 ④資金確保	・松江の文化力を支える7つの柱について「知る」「育てる」「伝える」「創造する」「活用する」「支える」の6つの取組の視点を取り入れながら、振興を図る。 ・4つの課題ごとに、めざすべき姿の実現へ向けて網羅的に取組みを進める。 ・伝統文化芸術の振興を効率的、効果的に取り組むため、関係部署や関係団体などとの連携を図る。

文化スポーツ部文化振興課　　文化力を生かしたまちづくり推進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	9月	第1回松江市伝統文化芸術振興審議会		
	3月	第2回松江市伝統文化芸術振興審議会		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	263		
旅費	358		
需用費	10		
役務費	12		
事業費計		643	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部国宝松江城課	地域の文化財調査・発信事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため

目標　（何を達成するのか）

「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館区ごとに地域住民とともに文化財調査を実施することにより、地域ごとの歴史的特徴を明らかにするとともにその魅力を発信する。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
地域調査実施公民館区数（累計）	6	7	8	9	25

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　地域調査実施公民館区数（累計）：2029（R11）年度
・地域に残る歴史史料（古文書等）を中心に、その所在や内容を調査し、実態把握と保存の措置をとる。
・調査の成果は公民館を中心とした地域と共有するとともに、松江市歴史叢書や歴史史料集の発刊、SNSやWeb講座、松江歴史館での展示等に反映する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・公民館区ごとの古文書所在確認調査（朝酌・秋鹿・東出雲・島根） ・市内に存在する文書の調査・整理・目録作成 ・歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書19の発刊 ・Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信	・公民館区ごとの古文書所在確認調査（朝酌・東出雲・古江・島根） →講座・刊行物等による成果発表 ・市内に存在する文書の調査・整理・目録作成 ・歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書20・松江市歴史史料集9の発刊 ・Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信	・公民館区ごとの古文書所在確認調査（朝酌・島根・古江・大野） →講座・刊行物等による成果発表 ・市内に存在する文書の調査・整理・目録作成 ・歴史史料の解読作業、松江市歴史叢書・松江市歴史史料集の発刊 ・Web講座の開催、HPやSNSによる歴史・史料情報の発信

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		10,056	10,732	10,732	11,226	494
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	4,890	1,283	1,283	736	−547
	一般財源	5,166	9,449	9,449	10,490	1,041
歳入合計		10,056	10,732	10,732	11,226	494

課題

地域に残る歴史史料の調査と保存の措置、研究と活用が求められている。

方向性

・史料の所在確認調査を行い、保存措置を施し、貴重な史料の散逸を防ぐ。
・史料調査と研究の成果を刊行物の発刊や講座の開催等を通して地域と共有し、市民の地域に対する誇りと愛着を醸成する。

文化スポーツ部国宝松江城課　　地域の文化財調査・発信事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	～8月	松江市歴史叢書原稿執筆	随時	古文書写真撮影
	3月	松江市歴史叢書発刊	随時	調査コラム・Web講座配信
	3月	松江市歴史史料集発刊		
	通年	古文書所在確認調査		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	4,562	委託料	293
職員手当等	1,768	使用料及び賃借料	15
共済費	1,144		
報償費	1,003		
旅費	257		
需用費	2,082		
役務費	102		
事業費計			11,226

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	松江の文化力次世代育成・継承事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

市民が「松江の文化力」を再認識し、未来を担うこどもたちはもとより、世代を超えて誰もが心豊かになれるまちを実現するために実施するもの。

目標 （何を達成するのか）

松江の文化力への関心を高め、郷土愛の醸成を育むべく、体験機会の充実・情報発信の強化を図り、次世代育成や伝統文化・芸術の継承をめざす。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
講座・教室、イベント実施件数（件）	14	9	6	6	6
講座・教室、イベント参加者数（人）	529	258	250	250	250

事業概要

（数値目標の目標年度）
講座・教室、イベント実施件数（件）・参加者数（人）：2029(R11)年度
【松江の文化力体験推進事業】こどもと保護者が松江の文化力を知り、体験する機会を創出する。
・伝統文化や文化芸術の講座・体験教室：こどもと保護者を対象に七つの柱にちなんだ講座や体験教室を開催する。
・伝統文化や文化芸術を体験できるイベント:既存イベントに合わせて文化体験ができる機会を提供する。
【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】地域の伝統行事の保存・継承を支援する
・上限額：1団体あたり5万円
・補助率： 10/10

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
【松江の文化力体験推進事業】 伝統文化や文化芸術の講座や体験教室 　開催数：9件、参加者数：258人 （「親子でワクワク弦楽器体験」、「親子で心温まる！鼓とお抹茶体験」など） 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 　交付数：2団体	【松江の文化力体験推進事業】 伝統文化や文化芸術の講座や体験教室、体験イベントを開催する（6件） 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・補助金を交付し、地域の伝統行事の保存・継承を支援する。（6件） ・広く補助金について周知する。	【松江の文化力体験推進事業】 伝統文化や文化芸術の講座や体験教室、体験イベントを開催する（6件） 【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】 ・補助金を交付し、地域の伝統行事の保存・継承を支援する。（10件） ・広く補助金について周知する。

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		4,313	2,500	2,500	2,300	−200
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	4,313	2,500	2,500	2,300	−200
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		4,313	2,500	2,500	2,300	−200

課題

【松江の文化力体験推進事業】
こどもと保護者が興味関心を持って楽しく学び・体験できるよう、講座や体験教室の内容等について検討・工夫する必要がある。
【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】
「地域に根づく伝統文化継承事業補助金」の申請数が少ないことから、制度の周知・PRの強化が必要である。

方向性

【松江の文化力体験推進事業】
こどもと保護者を対象に、松江の文化力を知り、楽しみながら体験する機会を提供し、松江の文化力への関心を高め、担い手の確保や地域の伝統文化の継承を図る。
【地域に根づく伝統文化継承事業補助金】
・地域に根づく伝統行事の保存や継承の取り組みを支援し、伝統行事の継承を図る。
・市報掲載やSNS等により制度の情報発信を強化する。

文化スポーツ部文化振興課　　松江の文化力次世代育成・継承事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	通年	講座・体験教室の開催		
	通年	体験イベントの開催		
	通年	補助金の申請受付、交付		

本事業に関する主要データ

■「親子で心温まる！蛍(どう)とお抹茶体験の魅力」や「親子で楽しむ八幡塗絵付～アートの展開へ～」など、松江の文化力を支える七つの柱をテーマとした体験教室を開催。

■松江市民文化祭や松江水燈路などの既存イベントに併せ、「親子でワクワク伝承曲体験♪」や「親子で手作り行燈(あんどん)づくり体験」を開催することで、気軽に親子で伝統文化芸術に触れる機会を提供。

令和7年度実績

No	体験教室の名称	参加者	その他
1	親子でワクワク伝承曲体験♪	58人	松江市民文化祭に併せて開催
2	親子で手作り行燈(あんどん)づくり体験	34人	松江水燈路に併せて開催
3	親子で心温まる！蛍(どう)とお抹茶体験の魅力	16人	
4	親子で楽しむ八幡塗絵付～アートの展開へ～	8人	
5	世界に一つだけの抹茶茶碗づくり体験	35人	
6	くるくる体験！自分だけの煎茶を飲む器を作ろう！	27人	
7	和菓子職人になれる！かわいいくまの和菓子づくり教室	31人	
8	親子で挑戦！いちごの彩の和菓子づくり	30人	
9	武者行列！本荘幾次郎の不思議な物語	19人	
	合計	258人	

令和7年度実績

No	申請団体・補助事業名	申請額
1	入江区・入江納涼盆踊り大会	50千円
2	上竹矢岡町組合・荒神祭	50千円
	合計	100千円

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,000		
負担金補助及び交付金	300		
事業費計		2,300	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	市民美術展開催事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

幅広く市民の美術への理解と関心を深めるとともに、発表や鑑賞の機会を確保し市民の文化力向上を図る。

目標 （何を達成するのか）

市民が創作した芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
来場者数（人）	1,349	0	1,450	1,550	1,600
一般公募作品出品数（点）	135	155	165	170	180

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　来場者数（人）　：　2029(R11)年度　※松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画の目標値
項目名　一般公募作品出品数（点）　：　2029(R11)年度

市民から広く美術作品を公募して美術展を開催することにより、幅広く市民の美術に対する理解と関心を深めるとともに、市民の文化力向上を図る。
（日時）令和8年9月4日（金）～7日（月）
（部門）6部門（書、日本画、洋画、写真、工芸、デザイン）
（会場）島根県立美術館ギャラリー　（主催）松江市、松江市民美術展実行委員会

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
【第53回市民美術展開催】 開催直前に、会場の島根県立美術館の空調設備故障により、中止とした。 洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作、ユース賞を選考し、表彰した。 ・出品数：221点 （うち一般公募155点、招待66点） ・来場者数：0人 ※会期前に中止を決定したため、来場者はなし	【第54回市民美術展開催】 会期：9月4日（金）～7日（月） 会場：島根県民会館ギャラリー ・洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作、ユース賞を選考し、表彰する。	【第55回市民美術展開催】 会期：9月3日（金）～6日（月） 会場：島根県民会館ギャラリー ・洋画、日本画、写真、書、工芸、デザインの6部門ごとに市長賞、優秀賞、奨励賞、佳作、ユース賞を選考し、表彰する。

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		2,295	2,722	2,722	2,803	81
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	2,295	2,722	2,722	2,803	81
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		2,295	2,722	2,722	2,803	81

課題

・コロナ禍以前と比べて、出品数や来場者が減少している。
・出品者、来場者ともに若年層の参加が少ない。

方向性

・高校、大学等の美術部等への情報提供と出品の呼びかけを行う。
・SNSを活用した広報を強化する。

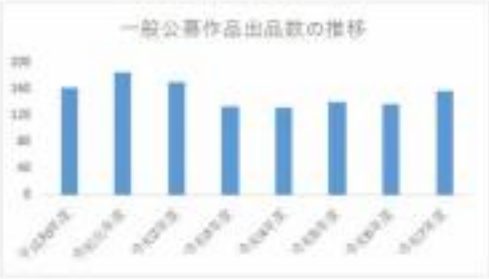
文化スポーツ部文化振興課　　市民美術展開催事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	5月	第1回実行委員会	10月	第3回実行委員会
	6月	作品募集開始		
	9月	第2回実行委員会		
	9月	市民美術展開催		

本事業に関する主要データ

開催年		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
来場者数		1,648	1,411	1,508	1,005	940	1,157	1,349	中止
出品数		235	252	240	195	190	193	205	221
	うち一般公募作品	161	184	168	132	131	138	135	155
	うち招待作品	74	68	72	63	59	55	70	66



R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	555		
委託料	2,248		
事業費計		2,803	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	小泉八雲・セツ普及促進事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）	数値目標					
松江市民の、小泉八雲・セツに対する愛着と誇りを一層深める。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない					
目標 （何を達成するのか）						
小泉八雲の妻・セツをモデルとしたドラマの放映を契機に、市民の小泉八雲・セツへの理解促進を図る機会・コンテンツを充実させる。						

事業概要

・小泉八雲とセツの普及をコーディネートする専門人材の雇用
・小泉八雲とセツの普及用冊子等の製作
・ゲストを招聘した、小泉八雲やセツをテーマとしたトークイベント（連続講座）等の開催
・市民向け出前講座の実施

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・一般向け冊子とこども向け冊子を製作し、市民の方や市内学校等に配布 ・ゲスト招聘によるトークイベントの開催 開催回数：4回 来場者数：214人 ・市民向け出前講座の実施 開催回数：23回 受講者数：858人 ・中央公論新社発刊『八雲とセツをおいかけて神様と妖怪に出会う旅』の編集協力を行い、当該冊子を市内学校等に配布するとともに市内施設で販売	・専門人材の雇用 ・普及用冊子等の増刷 ・ゲスト招聘によるトークイベント（連続講座）の開催 ・市民向け出前講座の実施 ・協定締結都市との事業連携	・専門人材の雇用 ・普及用冊子等の増刷 ・ゲスト招聘によるトークイベント（連続講座）の開催 ・市民向け出前講座の実施
達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		0	6,053	7,572	6,803	750
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	0	1,500	1,520	2,087	587
	一般財源	0	4,553	6,052	4,716	163
歳入合計		0	6,053	7,572	6,803	750

課題	方向性
小泉八雲・セツの魅力について、市民の学ぶ機会の充実と、国内外への情報発信の強化。	「小泉八雲・セツのドラマをイカしてバケる松江推進協議会」との情報共有・連携を図り、小泉八雲・セツの魅力を市民に浸透させる取り組みの強化とともに、仕組みを構築する。

文化スポーツ部文化振興課　　小泉八雲・セツ普及促進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	城下町文化など豊かな歴史文化、自然を活かした魅力向上

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	通年	トークイベント（連続講座）開催		
	随時	出前講座への協力		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,915		
職員手当等	1,131		
共済費	670		
報償費	320		
旅費	311		
需用費	57		
委託料	1,399		
事業費計		6,803	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部史料・埋蔵文化課	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）	数値目標					
史跡田和山・神後田遺跡の追加指定地について、遺跡の保護と将来への継承を円滑に行うため。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない。					
目標 （何を達成するのか）						
史跡追加指定地の公有地化を行う。						

事業概要

史跡田和山・神後田遺跡の公有地化を行うもの。
・令和４年３月１５日に史跡田和山遺跡の追加指定となった「神後田遺跡」の公有地化
・追加指定面積は8,140㎡(民有地7,959㎡、市有地181㎡)
・民有地7,959㎡のうち、同意の得られた土地の公有地化を行う。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・未取得地1,919㎡のうち、323㎡について、売却希望の打診を受ける。 ・関係機関と協議し、文化庁の補助事業での公有地化に向かうこととなる。	売却の打診のあった323㎡について、令和9年度に公有地化を行うため、不動産鑑定評価及び、国庫補助事業申請を行う。	323㎡について公有地化を行う。
達成度		
計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		7,561	0	0	404	404
財源内訳	国・県支出金	6,552	0	0	0	0
	地方債	900	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	109	0	0	404	404
歳入合計		7,561	0	0	404	404

課題	方向性
追加指定地には民有地が含まれ、遺跡の適切な保護・活用を将来行っていくことが困難である。	・公有地化することにより、将来永劫の遺跡保存・幅広い活用が実現する。 ・公有地化未同意の土地1,596㎡についても同意が得られれば公有地化を行う。

文化スポーツ部史料・埋蔵文化課　　史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史、文化を生かしたまちづくり

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4～8月	不動産鑑定評価		
	6月	補助事業計画提出		
	11月	補助事業本要望提出		
	1月	補助事業本申請提出		

本事業に関する主要データ

田和山遺跡・神後田遺跡の位置

史跡面積：24,313㎡
神後田遺跡：8,140㎡
田和山遺跡：16,173㎡

神後田遺跡の取得面積と事業費の推移

年度	取得面積（㎡）	累計面積（㎡）	事業費（千円）				
				国費	県費	起債	単費
R4	4,604	4,604	59,736	47,788	3,982	7,100	866
R5	614	5,218	7,346	5,876	489	800	181
R6	822	6,040	7,561	6,048	504	900	109
R7	－	6,040	－	－	－	－	－
R8（見込）	－	6,040	404	－	－	－	404
R9（見込）	323	6,363	10,260	8,208	685	1,230	137
合　計	6,363	6,363	85,307	67,920	5,660	10,030	1,697

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
役務費	404		
事業費計		404	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	重要伝統的建造物群保存地区推進事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）	数値目標					
美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、住環境や景観の向上を図り、地区の生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない					
目標　（何を達成するのか）						
重要伝統的建造物群保存地区の選定と補助制度導入による歴史を活かしたまちづくりを進める。						

事業概要

「伝統的建造物群」は、文化財保護法により「周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの」とされる文化財である。松江市は、美保関地区を「松江市美保関伝統的建造物群保存地区」（伝建地区）として決定し保存を図っているところである。市から国へ申出をし、わが国にとって特に価値が高いと判断されると「重要伝統的建造物群保存地区」（重伝建地区）に選定され、地区内の建築物等の修理・修景、防災事業等の経費の国庫補助を受けることができる。国の支援を得ながら、地区住民の皆様と共に歴史的資源を活かしたまちづくりを行う。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
①自治会、住民説明会：5月、8月、9月、10月、11月 ②住民組織「美保関まちなみ研究会」運営支援 ③技術者育成講習会の開催（全5回） ④美保関まちなみガイド育成講座の開催（全5回） ⑤保存活用審議会開催7月、12月 ⑥おかえりカフェ・住宅相談会開催 ⑦文化庁協議 ⑧職員研修 ⑨伝建だよりの発行：9月、11月、12月	①自治会、住民説明会 ②住民組織「美保関まちなみ研究会」運営支援 ③技術者育成講習会の開催（全5回） ④保存活用審議会開催 ⑤おかえりカフェ・住宅相談会開催 ⑥職員研修 ⑦伝建だよりの発行 ⑧選定記念事業の開催 ⑨住宅のモデル修理設計事業	
達成度		
計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		1,078	2,232	2,232	6,240	4,008
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	4,600	4,600
	一般財源	1,078	2,232	2,232	1,640	−592
歳入合計		1,078	2,232	2,232	6,240	4,008

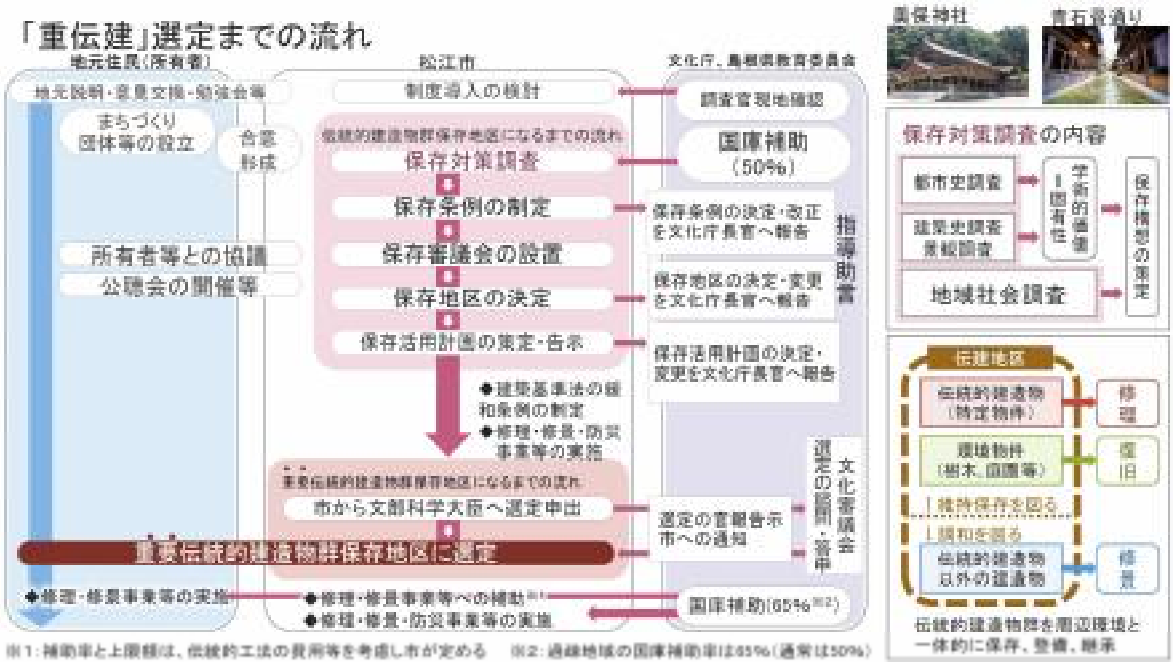
課題	方向性
①住民のまちづくり議論による合意形成が最優先である。 ②伝建地区では住民の権利制限が生じるため、住民の主体的参画と理解が必要である。 【制限】建造物等の現状変更に対する規制ほか 【支援】財政支援（建物修理や修景・防災事業等）、税制優遇（固定資産税等の減免）ほか	重伝建制度導入による生活環境向上、定住・交流人口確保、産業・伝統行事の継承などの効果を目指す。 【令和8年度】国から重伝建地区選定 【令和9年度】補助事業着手、防災計画検討開始

文化スポーツ部文化財課　　重要伝統的建造物群保存地区推進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	6月、2月	伝統的建造物群保存地区保存審議会	通年	美保関伝建だよりの発行
	夏頃	住宅のモデル修理設計事業	通年	おかえりカフェ・住宅相談会の実施（年6回）
	秋頃	重伝建選定記念事業、活用イベントの実施支援	通年	美保関まちなみ研究会支援（不定期）
	通年	技術者育成講座の開催（年5回程度）	随時	自治会、住民説明会の開催

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	176	負担金補助及び交付金	2,111
報償費	766		
旅費	684		
需用費	54		
役務費	126		
委託料	1,868		
使用料及び賃借料	455		
事業費計			6,240

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化振興課	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

こどもから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れ、演劇の楽しさや感動を味わうことで、市民の豊かな暮らしにつなげるとともに、演劇を通じた文化振興・地域づくりを推進する。

目標　（何を達成するのか）

国内外の多様で創造的な演劇作品に触れる機会を提供することで、市内外の方々に「まちそのものがアート」を実感していただく。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
観客数（人）	0	2,373	0	0	5,000
来場者数（人）	0	4,383	0	0	13,000

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　観客数（人）：2028（R10）年度
項目名　来場者数（人）：2028（R10）年度

令和10年度に開催する「第9回松江・森の演劇祭」の開催準備を支援するもの。
【松江・森の演劇祭とは】
八雲林間劇場（しいの実シアター）を中心に、平成14年から国内外の劇団を招いて開催される国際演劇祭。概ね3年ごとに開催。演劇上演のほか、マルシェも開催し、賑わいを創出する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
第8回松江・森の演劇祭開催事業を支援した。 【開催日】10/30(木)～11/8(土) 【会場】松江市八雲林間劇場(しいの実シアター)ほか 【内容】国内外の劇団を招いての上演、会場敷地内でのマルシェの開催など 【劇団】5か国8劇団8作品（仏・伊・米・英・日） 【観劇者数】2,373人 【来場者数】4,383人	第9回松江・森の演劇祭開催準備事業を支援する。	第9回松江・森の演劇祭開催準備事業を支援する。

達成度

計画目標に向かって概ね順調

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		2,500	27,500	31,334	2,500	−25,000
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	2,500	8,870	12,704	0	−8,870
	一般財源	0	18,630	18,630	2,500	−16,130
歳入合計		2,500	27,500	31,334	2,500	−25,000

課題

・物価や人件費の高騰により、演劇祭の経費負担が増大する。
・多くの観客・来場者を確保すべく、市内外へのPRを強化する必要がある。

方向性

・財源確保のため、国や民間の支援メニューやクラウドファンディングなどの活用をサポートする。
・より多くの方に演劇祭を知っていただき、来場していただくため、情報発信を強化する。

文化スポーツ部文化振興課　　国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月	補助金交付		
	3月	補助事業完了		
	通年	第9回松江・森の演劇祭開催準備		

本事業に関する主要データ

	第4回（H22開催）	第5回（H26開催）	第6回（H29開催）	第7回（R4開催）	第8回（R7開催）
期間	11/3～11/7	10/30～11/3	11/2～11/5	11/5～11/13	10/30～11/8
観客	4,267人	5,040人	5,156人	2,775人	2,373人
来場者数	10,955人	13,262人	12,486人	8,222人	4,383人
公演数	14公演 6か国11団体	14公演 6か国14団体	15公演 5か国14団体	11公演 4か国10団体	8公演 5か国8団体

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,500		
事業費計		2,500	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	わがまち自慢発掘プロジェクト事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

地域の歴史文化を伝え残していきたい大切な遺跡などの“お宝”を地図に表現し、広く市民や観光客に紹介することで、地域の歴史文化に対する関心や地域への愛着心を醸成する。

目標 （何を達成するのか）

わがまち自慢発掘プロジェクトや歴史のまち歩きなどを通して、「まち歩きマップ」や「歴史文化の案内・説明板」を活用した取り組みや地域の歴史文化に関心を持つ人を増加させる。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
歴史のまち歩き参加者数（年間／人）	103	137	180	180	400
歴史のまち歩き開催数（年間／件）	5	7	9	9	10

事業概要

（数値目標の目標年度）項目名　歴史のまち歩き参加者数（年間／人）　：　2029(R11)年度
項目名　歴史のまち歩き開催数（年間／件）　：　2029(R11)年度

①「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金
各公民館区の実施団体で作成された地域の“お宝”を掲載する「まち歩きマップ」や「歴史文化の案内・説明板」について、継続して地区活動や市民参加型活動に活用できるように、マップの増刷や案内・説明板の設置・更新・修繕に係る補助を実施する。
②歴史のまち歩き
マップや案内・説明板を活用し、ガイドとともに地域を巡るまち歩きを開催する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
①「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金：3地区 ②歴史のまち歩き 開催数：7回 応募者数：379人 参加者数：137人	①「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金：3地区 ②歴史のまち歩き 開催数：9回 （市以外の開催も含む） 参加者数：180人	①「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金：3地区 ②歴史のまち歩き 開催数：9回 （市以外の開催も含む） 参加者数：180人

達成度

計画目標に向けて進捗はやや遅れている

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		1,023	1,104	814	1,048	−56
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	82	144	108	96	−48
	一般財源	941	960	706	952	−8
歳入合計		1,023	1,104	814	1,048	−56

課題

・市が設置補助をした「歴史文化の案内・説明板」の中には、掲載内容が古くなったものや経年劣化により見えにくくなったものがある。
・歴史のまち歩きの参加者数において、目標値と実績値に大きな乖離がある。

方向性

・引き続き、「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助事業を実施し、「歴史文化の案内・説明板」の更新や修繕に係る補助を行う。
・公民館や関係機関と連携し、歴史のまち歩きの開催者や協力者を増やしていく。

文化スポーツ部文化財課　　わがまち自慢発掘プロジェクト事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史・文化を活かしたまちづくり

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	通年	「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金		
	随時	歴史のまち歩き		

本事業に関する主要データ

令和６年度歴史のまち歩き（実績）

	R6					
	八束	大庭	東出雲	玉湯	竹矢	計
応募者数（人）	27	46	59	51	59	242
参加者数（人）	14	37	20	21	11	103

「わがまち自慢発掘プロジェクト」補助金（実績）

	実施地区		
R6	東出雲	城北	白潟
R7	八束	白潟	八雲

令和７年度歴史のまち歩き（実績）

	R7							
	竹矢	八束	小林如泥	八雲・セツ	大庭	雑賀	美保関	計
応募者数（人）	34	40	72	68	55	62	48	379
参加者数（人）	22	15	19	20	17	24	20	137

歴史のまち歩き
（チラシ）

歴史のまち歩き
（雑賀地区）

まち歩きマップ
（八束地区）

歴史文化の案内・説明板
（白潟地区）

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	67		
需用費	10		
役務費	22		
委託料	44		
使用料及び賃借料	5		
負担金補助及び交付金	900		
事業費計		1,048	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部史料・埋蔵文化課	石垣修理事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）	数値目標					
史跡松江城の重要な構成要素である「松江城の石垣」を後世に保存・伝承していく。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることになじまない。					
目標 （何を達成するのか）						
・江戸時代の石垣を保存していくための手法を検討する。 ・石垣の解体修理にあたっては、江戸時代の工法を用いた保存修理を行う。 ・史跡松江城整備検討委員会を開催し、史跡松江城の整備に反映させる。						

事業概要

・整備にあたっては、史跡松江城の価値を高める整備内容となるよう史跡松江城整備検討委員会を開催する。
・史跡松江城整備基本計画に基づき、修理計画・修理方針を策定した後に石垣保存修理を実施する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・令和8年度以降の整備事業等について史跡松江城整備検討委員会を開催した。 ・史跡松江城整備基本計画を史跡松江城整備検討委員会に諮った。	・令和9年度以降の整備事業等について史跡松江城整備検討委員会に諮る。 ・令和9年度の発掘調査について、調査計画を策定し、史跡松江城整備検討委員会に諮る。	R9計画 ・令和10年度以降の整備事業等について史跡松江城整備検討委員会に諮る。 ・整備基本計画に基づき、石垣修理の基本設計を作成するための調査を実施し、史跡松江城整備検討委員会に諮る。
達成度		
計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		43	318	318	334	16
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	43	318	318	334	16
歳入合計		43	318	318	334	16

課題

・崩落の危険度の高い石垣から年次的に修理を行ってきたが、修理することで江戸時代に築造されたオリジナルの石垣は失われてしまう。そこで、来場者の安全性を担保しつつ、江戸時代からの石垣をどのように保存していくのかが課題である。
・石垣修理を進めるにあたって、松江城全体の整備基本計画を策定するよう文化庁の指導を受けている。

方向性

・定点観測や3D測量といった石垣の動態観測を実施するとともに、間詰石での補強や石垣支障木の伐採を行い、石垣の保存を目指す。
・石垣に変異が観測されれば石垣防止ネット、大型土嚢で崩落防止措置を行い、立入り制限等を実施し、最終手段として、江戸時代の工法を用いた石垣解体修理を行う。

文化スポーツ部史料・埋蔵文化課　　石垣修理事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	2月	史跡松江城整備検討委員会の開催		

本事業に関する主要データ

石垣修理スケジュール

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
計画内容	『史跡松江城整備基本計画』作成	調査計画策定	発掘調査	本丸北側多門・乾櫓石垣修理工事の基本設計	本丸北側多門・乾櫓石垣解体工事の実施設計	本丸北側多門・乾櫓石垣の解体工事及び積上工事の実施設計	本丸北側多門・乾櫓石垣積上工事

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	41		
旅費	289		
需用費	4		
事業費計		334	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部史料・埋蔵文化課	田和山史跡公園再整備事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）	数値目標					
全国でも希少な弥生時代の遺跡としての歴史的価値を後世に伝えていくため、誰にも親しんでもらえる憩いと学習の場にしていく。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない。					
目標　（何を達成するのか）						
田和山遺跡の持つ本来の価値や魅力を伝え、来訪者が安全に見学できる史跡公園とする。						

事業概要

国指定史跡である田和山遺跡について、追加指定となった神後田（じごで）遺跡をはじめとする周辺の松江市南郊の遺跡群との関連性などの新たな知見を基にわかりやすく紹介するとともに、来訪者が安全に見学できるよう史跡公園の再整備を実施するもの。
・木橋改修
・復元草葺竪穴建物解体・改修
・復元掘立柱建物改修
・山頂部の柵列・5本柱遺構改修
・手摺の改修
・フットライト・ライトアップ照明の設置

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
文化庁補助事業 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業により事業費1/2国庫補助 ①再整備計画検討委員会の開催（1回） ②トイレ新築実施設計 ③復元掘立柱建物改修工事 ④木橋改修工事（2箇所）手摺改修工事 ⑤景観支障木の伐採	文化庁補助事業 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業により事業費1/2国庫補助 ①再整備計画検討委員会の開催（1回） ②トイレ建設工事	文化庁補助事業 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業により事業費1/2国庫補助 ①再整備計画検討委員会の開催（1回） ②山頂部柵列遺構改修 ③山頂部5本柱遺構改修 ④ライトアップ設置 ⑤フットライト設置 ⑥ローポールライト設置 ⑦景観支障木の伐採
達成度		
計画目標に向かって概ね順調		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		45,326	72,830	72,830	71,171	−1,659
財源内訳	国・県支出金	22,423	36,415	36,415	35,584	−831
	地方債	19,200	32,000	32,000	32,000	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,703	4,415	4,415	3,587	−828
歳入合計		45,326	72,830	72,830	71,171	−1,659

課題

田和山史跡公園がオープンしたのは平成17年であり、公園設備は経年劣化により改修が必要な状況にある。そのため、整備当初の基本理念である「人々の憩い、学び、集いの場」としての機能が低下している。

方向性

・令和3年度に作成した実施設計に基づき、施設の再整備工事を実施し、史跡公園としての魅力の向上を図り、誰もに親しんでもらえる憩いと学習の場にすべく、市民と共に取り組んでいく。
・地元小・中学校の校外学習利用を通して若い世代に遺跡の価値を伝える。

文化スポーツ部史料・埋蔵文化課　　田和山史跡公園再整備事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	7～12月	トイレ建設工事		
	2月	再整備計画検討委員会		

本事業に関する主要データ

事業進捗状況

地区	整備内容		実施年度 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
設計	整備基本計画策定		○										
	基本設計			○									
	実施設計				○								
山頂部ゾーン	柵列遺構	耐久性と長寿命化を図る									○		
	掘本柱遺構	耐久性と長寿命化を図る									○		
環境部ゾーン	第1期整：既設丸太階段	既存丸太階段に踏板を設置										○	
	〃：丸太階段	丸太階段の設置										○	
	〃：放策路	土系舗装の放策路設置										○	
北側住居部ゾーン	遺構表示	土系舗装										○	
西側住居部ゾーン	草葺竪穴住居	専門性を勘案し、遺構面を復元						○					
	掘立柱建物	十本や量産の点検							○				
多目的ゾーン	多目的広場：舗装	自然色舗装、独自舗装											○
	トイレ設計	新築トイレの設計							○				
	トイレ建設	新築トイレの建設（既存リーストイレ撤去）								○			
緑地ゾーン	樹木の改採	既存緑地ゾーン：既存樹木の伐採			○			○	○		○	○	
		病院側緑地ゾーン：支障木等の改採					○						
		道路法面：竹林の改採									○	○	
	クズの除去	園内全域									○	○	
放策路	手すり	既存手摺撤去後新設							○				
	木橋	補修、交換				○		○	○				
サイン・説明板	遺構説明板	4か所（北側住居部ゾーン、西側住居部ゾーン）											○
		2か所（環境ゾーン）											○
	遺構ネームプレート	2か所（山頂部ゾーン）											○
	所要要望所：是板案内板	3か所（山頂部ゾーン、環境部ゾーン）											○
	ゾーン説明板	1か所（北側住居部ゾーン）											○
	誘導表示板	7か所											○
	説明版	ガラス戸、鍵付き（多目的利用ゾーン）											○
	史跡境界標	コンクリート境界杭											○
	看板	1か所（多目的利用ゾーン）											○
電気設備設置	ライトアップ照明	山頂部のライトアップ									○		
	山頂部照明	フットライト照明：山頂部外周									○		
	放策路照明	ローポール照明：西側入口部～山頂部を改修									○		
－	報告書作成												○

主な地方債：一般補助施設整備等事業

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	23		
旅費	164		
需要費	17		
役務費	3		
工事請負費	70,964		
事業費計		71,171	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	史跡松江藩主松平家墓所整備事業費補助金

事業の目的と目標

目的　（何のために）

・史跡松江藩主松平家墓所は、樹木による遺構の毀損、建築物の老朽化、排水施設の機能不全などの課題を抱えている。
・文化財の本質的価値を将来に亘って望ましい状態で保存し、公開活用するための整備を行う。

目標　（何を達成するのか）

・近世大名家墓所としての価値を保存するための復旧整備を行う。
・文化財的価値が損なわれない範囲で公開活用の整備を行う。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
数値目標とすることに馴染まない。					

事業概要

【全体計画】
宗教法人月照寺が行う整備事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。
・整備基本計画（令和2年3月策定）に基づく整備を行う。
　文化財の本質的価値を保存するための整備（近世から残る建造物・構造物の保存修理、危険木の伐採、排水施設整備等）
　文化財を公開活用するための整備（環境整備、便益施設・サイン等の整備など）
・整備検討委員会を開催し、整備に関する指導を受ける。
・事業期間：平成30年度～令和11年度（平成30年度、令和元年度は先行実施事業）、総事業費：602,711千円
・令和7年度事業費：77,380千円（国補助：38,690千円、県：12,896千円、市：12,897千円、所有者12,897千円）
・令和8年度事業費【月照寺】：122,995千円（国補助：61,497千円、県：20,499千円、市：20,499千円、所有者：20,500千円）
【東林寺】：24,275千円(国補助：12,137千円、県：4,046千円、市：4,046千円、所有者：4,046千円)

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・支障木伐採工事（御霊屋南側）（2ヵ年計画の2年目） ・支障木伐採工事（廟所地区） 　実施設計、工事（2ヵ年計画の1年目） ・参道修復工事（初代・七代・北側廟所地区） 　実施設計、工事（2ヵ年計画の1年目） ・七代廟門連子塀修復工事実施設計 ・整備検討委員会の開催	【宗教法人月照寺所有地】 ・支障木伐採工事（廟所地区）（2ヵ年計画の2年目） ・参道修復工事（初代・七代・北側廟所地区）（2ヵ年計画の2年目） ・七代廟門連子塀修復工事 ・支障木伐採工事（後背地区） 　実施設計、工事 ・二代廟門保存修理工事 　実施設計、工事 ・整備検討委員会の開催 【宗教法人東林寺所有地】 ・支障木伐採工事（後背地区） 　・実施設計、工事（3ヵ年計画の1年目）	【月照寺】 ・石造物（寿蔵碑）修復工事（3ヵ年計画の1年目） 【東林寺】 ・支障木伐採工事（後背地区）（3ヵ年計画の2年目）

達成度

計画目標に向かって概ね順調

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		9,849	12,897	12,897	24,545	11,648
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	1,540	0	0	0	0
	一般財源	8,309	12,897	12,897	24,545	11,648
歳入合計		9,849	12,897	12,897	24,545	11,648

課題

・史跡全体を整備するため長期間にわたる事業であり、所有者にとって多額の費用や、国庫補助事業にかかる事務が大きな負担となっている。

方向性

・整備基本計画に則って事業が進められるよう、所有者を支援していく。
・事業に必要な補助金を確保するため、引き続き国・県に対して要望していく。

文化スポーツ部文化財課　　史跡松江藩主松平家墓所整備事業費補助金

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月～7月	各種実施設計		
	3月	整備検討委員会		
	通年	各種工事		

本事業に関する主要データ

1. 七代廟門連子塀修復工事

2. 支障木伐採工事（後背地区）

3. 二代廟門保存修理工事

4. 支障木伐採工事（東側斜面地区）

【令和8年度の新規工事等】
1. 七代廟門連子塀修復工事： 倒壊の危険がある七代廟門連子塀の修復を行う。
2. 支障木伐採工事（後背地区）実施設計・工事： 後背地区の支障木等の伐採を行う。
3. 二代廟門保存修理工事実施設計・工事： 倒壊の危険がある二代廟門の解体修理を行う。
4. 支障木伐採工事（東側斜面地区）実施設計・工事： 東林寺所有地の史跡東側斜面地区の支障木等の伐採を行う。

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	24,545		
事業費計		24,545	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	重文木幡家住宅保存修理（第2期）事業費補助金

事業の目的と目標

目的　（何のために）

重要文化財木幡家住宅の指定建造物13棟は、経年劣化の進行が顕著となっている。第1期事業で修理した蔵3棟以外の建造物の保存修理を行い、その文化財価値を後世に確実に引き継ぐ。

目標　（何を達成するのか）

近世から明治にかけての重要文化財建造物としての価値を保存し、将来へ引き継ぐ。
文化財的価値を保つとともに、公開活用に向けて計画を策定していく。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
数値目標とすることに馴染まない					

事業概要

【重文木幡家住宅保存修理（第2期）事業費補助金】
重文木幡家住宅を構成する指定建造物13棟のうち、対象建造物（主屋・新座敷・飛雲閣・新奥座敷・奥座敷・湯殿・御成門・行啓門・資材蔵・裏門）について、所有者が実施する保存修理事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。
・事業期間：令和4年度～12年度　・総事業費：1,285,000千円（うち市負担64,250千円）
・令和5年度：95,500千円（市負担：4,775千円）
・令和6年度：144,000千円（市負担7,200千円）
・令和7年度：保存修理事業費：197,200千円（うち市負担：9,860千円）
　　保存活用計画策定事業費：388千円（うち市負担：194千円）
・令和8年度：保存修理事業費：254,600千円（うち市負担：12,730千円）
　　保存活用計画策定事業費：391千円（うち市負担：195千円）

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・主屋：基礎工事、木工事、屋根工事 ・（附）湯殿：基礎工事、木工事、屋根工事 ・新奥座敷：解体修理 ・奥座敷：解体修理 ・保存活用計画作成	・主屋：基礎工事、木工事、屋根工事 ・（附）湯殿：基礎工事、木工事、屋根工事 ・新奥座敷：解体修理 ・奥座敷：解体修理 ・保存活用計画作成	

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		7,200	10,054	10,054	12,925	2,871
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,200	10,054	10,054	12,925	2,871
歳入合計		7,200	10,054	10,054	12,925	2,871

課題

・第2期事業では10棟の建造物の修理が必要であり、所有者に多額の負担が生じる。
・狭い敷地に複数の建物が密集して建っているため、修理方針の決定や修理工事に高度の知識や技術を要する。
・第2期事業では、保存修理工事、防災とあわせて、活用について検討を進めていく必要がある。

方向性

・補助事業を確実に履行するために、修理委員会にてスムーズかつ適切な事業実施のための所有者のサポートを行う。
・所有者の意向を各種計画に確実に反映させるために、国、県、市、設計監理業者間で密に連携をとり、保存活用計画の概要をまとめる。
・事業に必要な補助金を確保するため、引き続き国・県に対して要望していく。

文化スポーツ部文化財課　　重文木幡家住宅保存修理（第2期）事業費補助金

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	通年	主屋：基礎工事、木工事、屋根工事	通年	保存活用計画作成
	通年	（附）湯殿：基礎工事、木工事、屋根工事		
	通年	新奥座敷：解体修理		
	通年	奥座敷：解体修理		

本事業に関する主要データ

・対象建造物

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	12,925		
事業費計		12,925	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	記録選択無形民俗文化財青柴垣神事調査事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

・青柴垣神事等の祭祀組織や祭礼の運営について、現状の記録作成を行う。
・現時点での祭礼の変遷や特色・意義を明らかにする。
・成果は地元と共有し、今後の継承活動の一助として活用する。

目標 （何を達成するのか）

青柴垣神事、諸手船神事等の実施状況調査、神事に関する資料調査を行い、報告書を刊行する。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
数値目標とすることに馴染まない。					

事業概要

・美保神社で行われる青柴垣神事は国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されている。
・この神事や関連する他の行事について、現在の祭祀組織、行事の現状、祭礼用具について調査し、記録に残す。
・過去の記録や資料との比較・分析により、その変遷や特色・意義を明らかにする。

【令和6年度】青柴垣神事調査、諸手船神事調査（市単独事業）
【令和7年度】青柴垣神事調査、諸手船神事調査（国庫補助事業）
【令和8年度】補足調査、報告書作成・刊行（国庫補助事業）

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・青柴垣神事等調査委員会の開催（2回） ・青柴垣神事、諸手船神事等の実施状況調査 ・神事に関する資料調査	・青柴垣神事等調査委員会の開催（2回） ・青柴垣神事等の実施状況補足調査 ・神事に関する資料調査 ・報告書の執筆・刊行	

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		1,071	2,103	2,103	5,573	3,470
財源内訳	国・県支出金	0	1,051	1,051	2,786	1,735
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,071	1,052	1,052	2,787	1,735
歳入合計		1,071	2,103	2,103	5,573	3,470

課題

青柴垣神事等が行われる美保関地区は、過疎化や少子高齢化、新型コロナの蔓延もあって、祭祀組織の維持や、これまでのような祭礼の運営が非常に厳しい状況となっている。

方向性

今回の調査で得られた成果を地元と共有し、今後の継承活動の一助として活用する。

文化スポーツ部文化財課　　記録選択無形民俗文化財青柴垣神事調査事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月	青柴垣神事現地調査	2月	調査委員会開催
	5月	神迎神事現地調査	3月	報告書刊行
	8月	虫探神事現地調査		
	〃	調査委員会開催		

本事業に関する主要データ

青柴垣神事

- 美保神社の祭神である事代主神が、大国主神から国譲りの相談を受け、譲ることを進言した後、海に身を隠すという故事を儀礼化
- 毎年4月7日に行われる
- 国の記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財に選択（昭和48年）

諸手船神事

- 事代主神が大国主神から国譲りの相談を受ける故事を儀礼化
- 毎年12月3日に行われる

青柴垣神事等調査委員会委員名簿（敬称略）

氏名	性別	職名	備考
関沢　まゆみ	女	国立歴史民俗博物館　教授（前副館長）	委員長
岩城　こよみ	女	鉄の歴史村地域振興事業団　博物館事業係　研究員	
喜多村　理子	女	松江市文化財保護審議会委員	
品川　知彦	男	山陰民俗学会　監事	
中野　洋平	男	島根県立大学　人間文化学部　地域文化学科　民俗学研究室　准教授	

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	1,159		
旅費	691		
需用費	3,224		
役務費	119		
委託料	380		
事業費計		5,573	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部文化財課	歴史的建造物保全継承事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

歴史的なまちなみを形成している古い建造物（歴史的建造物）の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を活かしたまちづくりを進める。

目標　（何を達成するのか）

本市独自の歴史的建造物の登録制度を活用し、歴史的なまちなみの保全と魅力あるまちづくりを推進する。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
歴史的建造物登録件数（累計）	21	21	24	25	25

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　歴史的建造物登録数（累計）　：　2029（R11）年度

①市内にある指定文化財以外の歴史的建造物のうち、「松江市歴史的風致維持向上計画」の重点区域である旧城下町エリア・美保関エリア・宍道エリアにあるもの及び国の登録有形文化財を対象として、保全継承し活用を図る。
②建造物調査の結果をもとに、所有者の同意を得て、「松江市歴史的建造物保全活用審議会」で調査審議し登録を行う。
③登録後、市と所有者で保全契約を締結し、所有者が行う外観保全等に係る工事費の一部を補助する。
④活用について、個々の建造物をまち歩きコースに設定するなど、面的に広げる。
⑤ヘリテージマネージャー（地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して地域づくりに活かす能力を持った人材）や関係団体との連携を強化する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
①歴史的建造物の登録（0件） ②2次調査（1件） ③修繕工事補助（1件） ④審議会の開催（0回）	①歴史的建造物の登録（3件） ②2次調査（1件） ③修繕工事補助（1件） ④審議会の開催（1回）	①歴史的建造物の登録（1件） ②2次調査（1件） ③修繕工事補助（1件） ④審議会の開催（1回） ⑤歴史的建造物一斉公開・まち歩き（1回）

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		939	14,267	8,048	4,128	−10,139
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	676	12,584	7,160	3,831	−8,753
	一般財源	263	1,683	888	297	−1,386
歳入合計		939	14,267	8,048	4,128	−10,139

課題

①歴史的建造物の空家化や除却により、良好なまちなみ景観が損なわれる状況があるため、引き続き、所有者の理解を得て、登録及び保全継承を図っていく必要がある。
②登録した歴史的建造物については、所有者による保全と有効な活用策を支援していく必要がある。
③財源である「松江市歴史まちづくり基金」が枯渇した後の代替策を検討する必要がある。

方向性

①歴史的建造物の登録を進め、所有者に対する外観保全等の修繕費の補助を行うことで、良好なまちなみ環境を維持向上させる。
②所有者とともに、歴史的建造物の活用を図り、歴史的資源を活かしたまちづくりを進める。
【活用事例】
・歴史的建造物をめぐるまちあるき
・宿泊施設（一棟貸しなど）
・商業施設（飲食・物販など）

文化スポーツ部文化財課　　歴史的建造物保全継承事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の安全・活用推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	5～9月	2次調査（内部調査、聞き取り）	通年	登録候補建造物の公募
	11月	歴史的建造物保全活用審議会開催（年1回）	通年	修繕工事（補助）
	2～3月	登録・保全契約締結		
	3月	登録プレート設置		

本事業に関する主要データ

■登録実績　（単位：件）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	計
旧城下町エリア	3	2	2	2	-	2	-	1	1	-	13
東保護エリア	-	3	-	-	2	-	-	-	2	-	7
宍道エリア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
上記エリア以外の登録有形文化財	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
合　計	3	5	3	2	2	2	0	1	3	0	21

■調査実績　（単位：件）

	1次調査（外観目視）	2次調査（聞き・内部）
	H26～H28	H26～R7
旧城下町エリア	783	26
東保護エリア	68	17
宍道エリア	76	15
登録有形文化財	-	2
合　計	947	60

■修繕補助金交付の推移（松江市登録歴史的建造物保全継承事業補助金）R7以降は見込

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
補助件数	0	1	3	3	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
補助金額（千円）	0	784	9,493	6,222	6,000	2,882	0	935	676	608	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

【内容】登録歴史的建造物の外観保全等に係る工事費の補助

1件当り建造物　上限額3,000千円，工作物　上限額2,000千円　／　補助率3分の2

■歴史まちづくり基金の推移　R7以降は見込　（単位：千円）

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
歴史積立	60,000	60,004	59,280	49,793	43,578	37,582	34,701	34,702	33,766	33,154	26,152	23,152	20,152	17,152	14,152	11,152
繰越し・交付（▲）	0	▲ 784	▲ 9,493	▲ 6,222	▲ 6,000	▲ 2,882	0	▲ 935	▲ 676	▲ 7,608	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 3,000
利子積立額	4	60	6	7	4	1	1	1	62	156						
歴史残高	60,004	59,280	49,793	43,578	37,582	34,701	34,702	33,766	33,154	26,152	23,152	20,152	17,152	14,152	11,152	8,152

※R7年度の繰越し額のうち，6,552千円はまちづくりファンド組入分

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	54		
報償費	21		
旅費	64		
需用費	3		
役務費	3		
委託料	983		
負担金補助及び交付金	3,000		
事業費計			4,128

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部国宝松江城課	史跡松江城保存整備事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）	数値目標					
史跡として文化財指定された松江城の本質的価値を適切に保存するとともに、来訪者の安全を確保し、来訪者がその価値や歴史に対する理解を深める。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない					
目標　（何を達成するのか）						
史跡松江城整備基本計画に基づき、総合的・計画的な史跡整備を行う。						

事業概要

来訪者が安全に松江城を訪れ、松江城の本質的価値への理解を深めることができるよう、令和7年度に策定する「史跡松江城整備基本計画」をもとに、計画的な史跡整備を実施するもの。
【全体計画】
令和8年度：危険木対策（護国神社、市道城山公園線沿い）
令和9～10年度：危険木対策（椿谷、遊覧船航路沿い）
令和11年度：危険木対策（鎮守の森散策路沿い）
令和12年度以降：サイン整備、園路整備

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
	・護国神社周辺、市道城山公園線沿いの危険木伐採・剪定	・椿谷、遊覧船航路沿いの危険木伐採・剪定
達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		0	0	0	19,527	19,527
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	9,763	9,763
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	9,764	9,764
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		0	0	0	19,527	19,527

課題	方向性
・安全対策だけでなく、史跡の本質的価値の保存や、史跡としての景観にも配慮する必要がある。 ・指定管理者、松江城周辺の市有施設、文化財、観光等、関係者との連携が必要である。	・史跡松江城整備検討委員会に諮ったうえで整備を実施する。 ・関係者との間で随時、情報と問題点の共有を図る。

文化スポーツ部国宝松江城課　　史跡松江城保存整備事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月	発注		
	6月～2月	伐採・剪定		
	3月	完了		

本事業に関する主要データ

史跡松江城保存活用計画（平成29年3月策定）

史跡松江城の保存及び活用に関する事項を明らかにし、その保存や整備に関する将来的な方針を示す。

史跡松江城整備基本計画（令和8年3月策定）

整備の基本理念・基本方針を明らかにし、事項別計画のほか、事業期間や完成予想図を示す。

＜重点分野＞

石垣保存計画　サイン計画　植生管理計画　園路整備計画

＜令和8年度＞

護国神社周辺、市道城山公園線沿いの危険木対策

史跡松江城

「史跡松江城整備基本計画」の中で定めた「植生管理計画」に基づき、令和8～11年度の4か年で史跡内の危険木対策（伐採、剪定等）を実施する。

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	178		
需用費	41		
委託料	19,308		
事業費計		19,527	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部国宝松江城課	国宝松江城天守保存修理事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）	数値目標					
本市の貴重な文化遺産である国宝松江城天守を守り、次代へ引き継ぐ。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない					
目標 （何を達成するのか）						
令和7年度に修理基本計画策定、令和8年度に実施設計を行い、令和9年度から大規模修理を実施する。						

事業概要

国宝松江城天守は昭和25年～昭和30年の解体修理から70年が経過し、屋根瓦や壁板などが複数箇所で損傷し、雨漏りが発生しているため、外観を中心とする大規模な修理を実施する。
【全体事業計画】
令和7年度: 修理基本計画策定
令和8年度: 実施設計
令和9～11年度: 保存修理工事（見込み）

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
修理基本計画策定	実施設計	保存修理工事（1年目）
達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		0	12,275	12,275	10,827	−1,448
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	6,766	6,766
	地方債	0	0	0	3,600	3,600
	その他	0	12,275	12,275	461	−11,814
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		0	12,275	12,275	10,827	−1,448

課題

・調査や工事の実施にあたって、登閣者への影響を最小限に抑える必要がある。
・文化財、観光、指定管理者等、関係者の連携が必要である。
・建造物だけでなく史跡（敷地）を含めた文化財の価値を守る必要がある。
・修理の財源を確保する必要がある。

方向性

・工事にあたっては、工事ヤードと登閣者の動線を分けるなど安全対策を講じる。また、見学会の実施など、修理の成果と意義を広く一般に向けて情報発信する。
・関係者で定期的に協議を行い、情報と問題点を共有する。
・事前の調査期間を十分確保し、必要に応じて専門家の意見を求める。
・寄附や募金など様々な財源確保の方策を講じる。

文化スポーツ部国宝松江城課　　国宝松江城天守保存修理事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	歴史的建造物など文化財の保全・活用推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月	国庫補助事業申請		
	6月	国庫補助事業着手		
	6月	実施設計着手		
	3月	実施設計完了		

本事業に関する主要データ

地方債：一般補助施設整備等事業

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
旅費	268		
需用費	32		
委託料	10,527		
事業費計		10,827	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部国宝松江城課	文化財情報デジタル化推進事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

松江市の豊富な文化財情報のデジタルアーカイブ構築やAR・VRなどのデジタル技術の活用を行い、市民をはじめとするより多くの人にその魅力を伝えるとともに、松江市の文化財行政におけるデジタル人財育成も図る。

目標 （何を達成するのか）

令和3年12月認定の「松江市文化財保存活用地域計画」に掲げる将来像 “誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち” の実現のため

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
文化財データベース導入累計数（箇所）	2	3	4	5	6
松江城天守登閣数（4月～3月）（人）	398,675	470,000	480,000	500,000	500,000
松江歴史館観覧者数（4月～3月）（人）	49,449	59,000	55,500	55,500	60,000

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　文化財データベースの導入箇所数（件）：2027（R9）年度
項目名　松江城天守登閣者数（人）、松江歴史館観覧者数（人）：2029（R11）年度
・松江市に所在する豊富な文化財の情報をデータ化（デジタル化）するとともに、松江市の博物館、資料館、文化財所管部局で共通の文化財データベースシステムにデータを登録することで文化財情報を一元化して松江市版文化財デジタルアーカイブを構築する。

・令和3年3月に連携協力協定を締結した同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターと共同で、AR・VRなどのデジタル技術を活用した文化財情報の発信を行う。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・文書館データベースへのデータ登録 ・松江歴史館での松江城天守VR体験の運用	・文書館データベースへの登録・公開 ・玉作資料館所蔵資料のデジタル化 ・松江歴史館での松江城天守VR体験の運用	

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		1,539	2,010	2,010	1,638	−372
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,539	2,010	2,010	1,638	−372
歳入合計		1,539	2,010	2,010	1,638	−372

課題

・松江市に所在する豊富な文化財の情報を一元化して効果的に発信する環境整備が必要。
・事業推進にあたっての市役所内部での体制整備が必要。

方向性

・一元化したデータベース（デジタルアーカイブ）を松江市のホームページ等で公開する。
・文化財セクション横断的なチーム編成を行い、利用しやすいデジタルアーカイブの構築を図る。

文化スポーツ部国宝松江城課　　文化財情報デジタル化推進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化財情報デジタル化推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4～8月頃	文書館収蔵資料データの整理・登録作業		
	3月	文書館収蔵資料データベースの公開		
	通年	松江歴史館での松江城天守VR体験実施		
	随時	文化財のデジタル化（撮影等）作業		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	144		
旅費	223		
役務費	44		
委託料	781		
使用料及び賃借料	446		
事業費計		1,638	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部国宝松江城課	国宝松江城調査研究事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

「誰もが松江の歴史文化を誇りに思い、こころ豊かになれるまち」実現のため、けん引役として松江城の調査研究をより一層推進し、その価値を高め、成果を広く発信し、行政各分野の施策にも積極的に貢献していく。

目標 （何を達成するのか）

・調査研究による新たな事実の解明による学術的価値の向上。
・正確かつ最新の調査研究成果の発信による知名度の向上。
・関係市・県・研究者との共同研究による世界文化遺産登録の実現。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
松江城天守登閣者数【4月～3月】（人）	398,675	470,000	480,000	480,000	500,000

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名 松江城登閣者数：2029（令和11）年度
調査研究を通じて、松江城の学術的価値を高めるとともに、その成果を積極的に情報発信する。
・調査研究事業
　松江城調査研究委員会を中心に、天守、城郭、城下町全体の調査研究を行う。
・世界遺産登録推進事業
　松本市、犬山市との近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会での共同研究を推進する。
・情報発信事業
　講演会の開催、研究成果をまとめた書籍の発行を通じ、情報発信を行う。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ・『論集松江城Ⅱ』の刊行準備 ・『松江城研究7』『松江城ブックレット9』の発刊 ・ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力 ・近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究	・松江城調査研究委員会の開催 ・建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ・『松江城ブックレット10』『松江城ブックレット11』の刊行準備 ・『論集松江城Ⅱ』の発刊 ・ICOFORT松江会議・日中韓共同研究への協力 ・近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究	・松江城調査研究委員会の開催 ・建築史部会、城郭史部会、絵図・地図・文献部会での調査研究 ・『松江城ブックレット10』『松江城ブックレット11』の発刊 ・『松江城研究8』の発刊 ・『松江城関係資料集8』の発刊 ・ICOFORT研究会議・日中韓共同研究への協力 ・近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会への参画、共同研究

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		12,652	14,068	14,068	13,527	−541
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	191	14,068	14,068	115	−13,953
	一般財源	12,461	0	0	13,412	13,412
歳入合計		12,652	14,068	14,068	13,527	−541

課題

・世界遺産登録を見据えた世界的見地からの調査・研究が求められる。
・松江城に関する調査研究レベルの維持向上のための継続的な取組みが必要。
・市民の機運醸成が求められる。

方向性

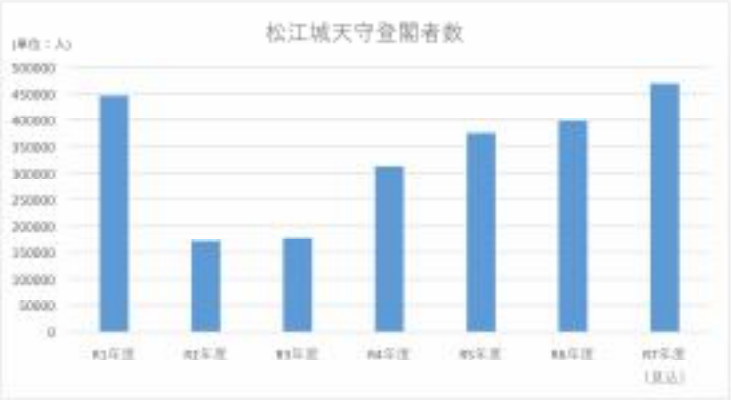
・国際会議の松江開催、外国語媒体の書籍刊行、海外専門家との共同研究などを通じて、調査研究に国際的な視点を取り込む。
・基礎研究を継続的に実施し、その成果を広く発信し、観光など市政全般にも反映させる。
・講座の開催など啓発活動に取り組む。

文化スポーツ部国宝松江城課　　国宝松江城調査研究事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	国宝松江城調査研究事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月～6月	松江城調査研究委員会	3月	出版物刊行
	5月	世界遺産登録推進会議準備会 総会	随時	松江城調査研究委員会 専門部会での個別調査
	7月～2月	世界遺産登録推進会議準備会 専門家会議（WG）3回	随時	各専門部会の開催
	11月	ICOFORT松江会議の開催		

本事業に関する主要データ



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により
令和2～3年度は登閣者数が大幅に減少。

令和元年度と比較し、令和5年度は約8割、
令和6年度は約9割と回復傾向にある。

松江城調査研究の成果発信に関する出版物

シリーズ名	概要
論集松江城	松江城調査研究委員会委員を中心とする松江城研究の成果報告
松江城ブックレット	松江城に関する専門的な内容を、 各分野の専門家が分かりやすく叙述したブックレット
松江城関係資料集	松江城に関する基礎資料集 （松江城に関する調査研究の進展に寄与するもの）

松江城研究

松江城ブックレット

・ICOFORT(城塞軍事遺産国際学術委員会)
　文化遺産として世界遺産一覧表に推薦された資産の審査を担当するICOMOS（国際記念物遺跡会議）に属する国際学術委員会の一つ。世界各地の城塞、要塞、軍港、古戦場などの軍事施設や戦跡について、歴史遺産としての価値づけ、保存活用をめぐる活動を行う。

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,281	負担金補助及び交付金	3,578
職員手当等	884		
共済費	562		
報償費	1,532		
旅費	1,726		
需用費	2,806		
役務費	158		
事業費計			13,527

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部松江歴史館	松江歴史館展示企画事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

松江の歴史・文化に関わる展覧会の開催などにより、松江の新たな魅力を発信することで、郷土愛の醸成を図る。

目標 （何を達成するのか）

調査研究成果を活かした魅力ある展覧会の開催とともに観覧者数の増加を図る。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
松江歴史館観覧者数（人）	49,449	59,000	55,500	57,000	60,000

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　松江歴史館観覧者数（人）：2029（R11）年度　60,000人

・松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を年4回開催する。
・このうち、特別展はその年度の最も規模の大きな展覧会である。
・企画展では県外の普段見られない資料や地元の資料を中心に展示する。また、年1回は館蔵品展を開催する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
〔特別展・企画展・館蔵品展〕 ①企画展「松江の名工・小林如泥－その技、神の如し－」 ②館蔵品展「長崎家の籐細工－松江でつづく丁寧な仕事－」 ③特別展「慶長の城－松江城築城とその時代－」	〔特別展・企画展・館蔵品展開催予定〕 ①企画展「意東焼－松江藩が作った幻の磁器－」 ②企画展「松江の町人太助の日常－つらつら、おぼえ日記－」 ③特別展「猪目が揃う松江藩の甲冑」 ④館蔵品展「極秘諸国城図－松江藩士が所持した城図集－」	調整中

達成度

計画目標に向かって概ね順調

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		17,290	16,357	16,357	20,490	4,133
財源内訳	国・県支出金	3,376	3,907	3,821	3,120	−787
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	12,888	12,450	12,536	17,370	4,920
	一般財源	1,026	0	0	0	0
歳入合計		17,290	16,357	16,357	20,490	4,133

課題

・効果的な広報を実施し、より多くの人に展覧会を周知する必要がある。
・興味を引く展示内容、仕掛けなどの工夫が必要である。

方向性

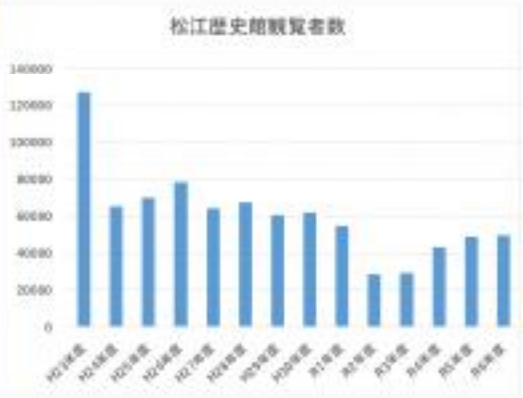
・チラシやポスターに加え、SNSを活用するなど効果的な広報を行う。また、松江城との二館共通券の販売あっ旋など松江城登閣者の松江歴史館への誘導策を検討する。
・市民により一層関心を持ってもらえるように、調査・研究の成果をさらにわかりやすく展示をしていく。
・公開承認施設の利点を活かして、国宝・重要文化財をはじめとする貴重な資料を展示し、歴史や文化に対する関心を高めていく。

文化スポーツ部松江歴史館　　松江歴史館展示企画事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	松江歴史館展示企画事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月～6月	企画展「意東焼－松江藩が作った幻の磁器－」		
	7月～9月	企画展「松江の町人太助の日常－つらつら、おぼえ日記－」		
	10月～12月	特別展「猪目が揃う松江藩の甲冑」		
	1月～4月	館蔵品展「極秘諸国城図－松江藩士が所持した城図集－」		

本事業に関する主要データ



R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	426		
旅費	286		
需用費	688		
役務費	1,566		
委託料	17,426		
使用料及び賃借料	98		
事業費計		20,490	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	ぷらっとプラバ魅力発見事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

市民がプラバホールを身近な施設として、これまで以上に愛着を感じ、ふとした機会にぷらっと立ち寄れる場として、プラバホールの新たな魅力を発見してもらう。

目標 （何を達成するのか）

市民にこどもの頃からプラバホールに親しんでもらうため、特に小学生親子を対象とした4つの取組により、来場機会の創出や利用人数増を目指す。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
ぷらっとプラバ事業参加人数（ 人）		2,749	2,500	2,500	2,500
プラバホール利用人数（人）	90,156	86,044	108,000	112,000	120,000

事業概要

（数値目標の達成目標年度）
項目名　ぷらっとプラバ事業参加人数：2026（R08）年度
項目名　プラバホール利用人数：2029（R11）年度
音楽プロデューサーを中心に、さんぴる文化センタープラバホールを拠点として、こどもたちをはじめ多くの市民が音楽を身近に感じられるよう各種事業を展開する。
令和8年度事業予定
●親子セットチケット
●公演リハーサル無料公開
●公開レッスン、ワークショップの実施
●プラバイベントの実施

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
●親子セットチケット 招待者数：小学生親子144組288人 ●公演リハーサル無料公開 参加者数：市内中学生19人 ●公開レッスン、ワークショップの実施 参加者数：市内中学生150人 ●プラバイベントの実施 参加者数：2,292人 【評価】目標を上回る参加者数となり、順調に推進することができた。	4つの取組により2,500人の利用を目指す。	4つの取組により2,500人の利用を目指す

達成度

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		0	1,864	1,864	1,850	−14
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	1,864	1,864	0	−1,864
	一般財源	0	0	0	1,850	1,850
歳入合計		0	1,864	1,864	1,850	−14

課題

プラバホールの鑑賞事業が調整中の部分もあるため、演者とのスケジュール調整により実施の可否が左右される取組もあり、どのような取組が確実で最も効果的であるかを常に検証する必要がある。

方向性

誰もが一度はプラバホールに来たことがあるという経験をもてるよう、特にこどもを中心としてプラバホール来場機会を創出することで、利用人数の増を目指す。取組内容は実施後の利用者アンケート等により見直しをかけていく。

教育委員会生涯学習課　　ぷらっとプラバ魅力発見事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	まちそのものがアート
	主要施策	文化芸術の拠点施設としてのプラバホールの利活用

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月～2月	親子セットチケット	毎月	ミニイベント「プラBar（プラバー）」実施
	11月	公演リハーサル無料公開		
	4月～3月	公演レッスン、ワークショップの実施		
	8月、12月	プラバイベント（夏祭り・冬祭り）の実施		

本事業に関する主要データ

さんびる文化センタープラバホール　鑑賞事業（予定）

公演名	時期
声優朗読劇フォアレーゼン～戦国のダイ・ハード～	5月10日
まつえ寄席	6月19日
プラバの夏祭り	8月8日
前橋汀子ヴァイオリン・リサイタル	9月23日
藤木大地カウンターテナー・リサイタル	10月3日
広島交響楽団第33回島根定期演奏会	11月21日
細川千尋ジャズ・トリオ・コンサート	12月6日
務川慧悟ピアノ・リサイタル	令和9年1月16日
松江と共に歩むプラバホール	令和9年2月21日

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報償費	140		
委託料	900		
使用料及び賃借料	810		
事業費計		1,850	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ施設課	市営体育施設改修費

事業の目的と目標

目的 （何のために）

市営スポーツ施設の安全性と利便性の向上を図り、スポーツを起点としたまちづくりを推進する。

目標 （何を達成するのか）

老朽化が進む市営体育施設の改修・修繕を行い、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図る。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
市営スポーツ施設年間利用者数（人）	1,199,588	1,094,654	1,300,000	1,300,000	1,300,000

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　市営スポーツ施設年間利用者数：2029(R11)年度

老朽化が進む市営体育施設について、利用者の安全確保及び施設の利便性向上を図るうえで、優先度の高い改修・修繕から順次実施する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
【主な事業】 ・松江市営陸上競技場2種更新改修工事 ・鹿島総合体育館プール室LED改修工事 ・東出雲中央公園テニスコートLED改修工事	【主な事業】 ・鹿島総合体育館チラーユニット更新工事 ・松江市営庭球場電気設備更新工事 ・島根体育館トイレ改修工事	

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		115,248	174,304	158,650	248,909	74,605
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	8,272	8,272
	地方債	72,500	159,700	96,400	218,500	58,800
	その他	5,983	4,801	4,311	3,424	−1,377
	一般財源	36,765	9,803	57,939	18,713	8,910
歳入合計		115,248	174,304	158,650	248,909	74,605

課題

老朽化が著しい施設が多く、施設の突発的な修繕等への対応に苦慮している。

方向性

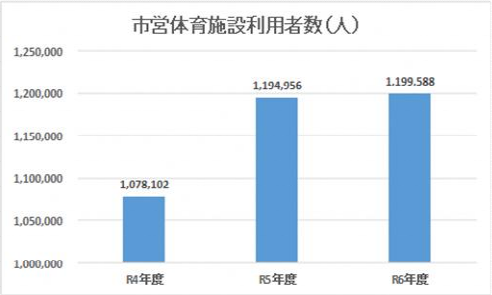
施設の改修・修繕については、指定管理者へのヒアリングや現地調査により、利用者の安全確保や施設の利便性向上に向け、優先度の高いものから順次実施する。

文化スポーツ部スポーツ施設課　　市営体育施設改修費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	体育施設整備事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月～3月	施設の稼働状況などを勘案し、順次実施する。		

本事業に関する主要データ



市営体育施設利用者数（人）

年度	利用者数	前年度比較	主な前年度増減理由
R4	1,078,102	120,263	新型コロナウィルス感染症に関連した施設の利用制限を行わなかったことによる増
R5	1,194,956	116,854	新型コロナウィルス感染症に関連した施設の利用制限を行わなかったことによる増
R6	1,199,588	4,632	好天等による増

種別ごとの市営体育施設数　　令和8年2月1日現在

屋内スポーツ			屋外スポーツ						
体育館	武道館	プール	野球	テニス	陸上	補助競技場	多目的広場	ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ等	ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ
14	3	2	9	8	1	1	13	5	2
58									

★主な地方債：公共事業等、公共施設等適正管理推進事業（長寿命化事業）、公共施設等適正管理推進事業（ユニバーサルデザイン化事業）、過疎対策事業、学校教育施設等整備事業、脱炭素化推進事業

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	12,389		
役務費	72		
委託料	10,997		
使用料及び賃借料	1,144		
工事請負費	218,273		
備品購入費	6,034		
事業費計		248,909	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ振興課	スポーツコミッション事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）	数値目標					
スポーツ団体・民間事業者・経済団体・市などの連携を促進し、スポーツの大会・イベント・合宿等が市内にもたらす社会的効果・経済的効果の最大化を図る。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない。					
目標　（何を達成するのか）						
関係団体の連携の基盤（プラットフォーム）として令和7年3月に設立した「松江スポーツコミッション」の活動を通じて、各団体が得意分野を生かして、スポーツによる地域活性化・まちづくりに取り組む。						

事業概要

松江スポーツコミッションの主な取組
・企画・調整
　「交流ミーティング」の企画運営　　マーケティング調査（事例調査、全国会議参加、アンケート調査・分析等）
・情報集約・発信
　大会、イベント、スポーツ施設等の情報集約　　ホームページ、SNS等による情報発信
・観光連携
　スポーツイベント参加者に対する観光情報、飲食店、土産等の紹介
・大会・合宿の誘致・開催支援
　競技団体、大学、実業団チーム等への誘致活動　　スポーツ施設、交通、飲食、宿泊等のワンストップによる調整
　ボランティア登録制度による開催支援

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
【企画・調整】 ・「交流ミーティング」開催（計5回） 【情報集約・発信】 ・スポーツコミッションホームページ開設 【観光連携】 ・スポーツイベント参加・観戦者に対する観光情報提供や観光施設・飲食店等のクーポン発行 【大会・合宿の誘致・開催支援】 ・主催者向けワンストップ相談体制設置 ・旅行会社に対する合宿誘致活動実施 ・スポーツボランティア登録制度創設	令和7年度の取組を継続・発展させるとともに、将来的な担い手となる民間組織を決定し、事務局を移行するための準備を行う。	事務局を民間組織に移行することを目指し、自主財源を含めた持続的な事業計画を検討し、取組を継続・発展させていく。
達成度		
計画目標に向けて順調に推移		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		0	5,496	5,496	5,705	209
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	5,496	5,496	5,705	209
歳入合計		0	5,496	5,496	5,705	209

課題	方向性
民間組織への事務局のスムーズな移管	市補助金以外の財源を得るために行う自主事業の実施可能性の検討を含め、自立可能な事業計画等について検討し、既存の民間組織等に事務局を移管することを目指す。

文化スポーツ部スポーツ振興課　　スポーツコミッション事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	スポーツ推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	5月	総会の開催	随時	大会開催支援・観光連携（おもてなし事業）の実施
	9月	旅行代理店向け合宿誘致活動の実施	随時	開催支援ワンストップ相談対応
	通年	幹事会、交流ミーティングの開催	随時	スポーツボランティア研修会開催
	通年	スポーツイベント情報、ボランティア情報の提供	随時	事務局移管先検討・協議

本事業に関する主要データ

構成団体

一般財団法人島根県物産協会
松江商工会議所
松江商店会連合会
松江茶道連合会
一般財団法人くにびきメッセ
一般社団法人松江観光協会
公益財団法人松江市観光振興公社
松江市障害者スポーツ協会
公益財団法人松江スポーツ協会
株式会社山陰合同銀行
株式会社島根銀行
しまね信用金庫
株式会社日本政策投資銀行松江事務所
東出雲町商工会
まつえ北商工会
松江商工会議所
まつえ南商工会
一般電事株式会社
一般社団法人島根県旅客自動車協会
西日本旅客鉄道株式会社山陰支社
株式会社SKSS
株式会社NHLしまね
NPO法人かしま
NPO法人しんじ湖スポーツクラブ
NPO法人SPORTIVOひがしいずも
公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団
島根県立大学・島根県立大学短期大学部
国立大学法人島根大学
松江市公民館運営協議会連合会
松江市地域体育協会連合会
松江市町内会・自治会連合会
株式会社バンダイナムコ島根スタノオマジック
山陰ケーブルビジョン株式会社
株式会社山陰中央新報社
山陰中央テレビジョン放送株式会社
玉造温泉旅館協同組合
松江新阪ホテル組合
美保関旅館組合
株式会社一畑トラベルサービス
株式会社JTB山陰支店
株式会社日本旅行TIS松江支店
名鉄観光サービス株式会社山陰営業所
山陰パナソニック株式会社
松江市社会福祉協議会
松江市
（45団体）

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,273		
職員手当等	864		
共済費	548		
旅費	20		
負担金補助及び交付金	2,000		
事業費計		5,705	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ振興課	スポーツ推進事業費

事業の目的と目標

目的 （何のために）	数値目標					
こどもの運動機会や新たな競技体験機会の確保、基礎的な運動能力の獲得を目指すとともに、地域とのつながりづくりを目的とする。	項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない					
目標 （何を達成するのか）						
・様々な運動遊びや競技に触れることにより、こどもがスポーツに親しむ機会を増やす ・地域の指導者とこどもたちが直接ふれあうことにより、地域内交流を促進する						

事業概要

第3期松江市スポーツ推進計画実施計画記載の具体的取組を進めるため、次の2つの事業に取り組む。

【昔の遊び体験会】
未就学児を対象に、地域の指導者が保育所や幼稚園などの保育施設を訪問し、こどもの運動機会の確保や基礎的な運動能力の獲得を目的に「昔遊び体験会（けん玉・羽根つき・けんけんぱ　など）」を実施する。

【スポーツ体験会】
小学生を対象に、地域のスポーツチームの指導者や民間スポーツ事業者が放課後こども教室や児童クラブに訪問し、様々なスポーツを体験できるスポーツ体験会を実施する。

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
実績なし	昔の遊び体験、スポーツ体験ともにモデル事業として、一部の地域で試験的に事業を実施する。	全地区で募集を行い、実施可能な地区で事業を実施する。
達成度		

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		0	0		1,000	1,000
財源内訳	国・県支出金	0	0		0	0
	地方債	0	0		0	0
	その他	0	0		1,000	1,000
	一般財源	0	0	0	0	0
歳入合計		0	0		1,000	1,000

課題	方向性
○昔の遊び体験会 ・指導者の確保 ・統一したマニュアルの作成 ○スポーツ体験会 ・指導者の確保 ・会場の確保やこどもの移動	令和8年度はモデル事業として、試験的に事業を行う。その結果の検証を行い、令和9年度から本格的に事業を進める。

文化スポーツ部スポーツ振興課　　スポーツ推進事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	スポーツ推進事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月	指導者、保育施設、放課後こども教室、児童クラブに希望調査		
	5月	希望調査をもとに地域ごとにマッチング		
	6月	事業開始		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
需用費	340		
委託料	660		
事業費計		1,000	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ施設課	松江市総合体育館改修整備管理運営事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

松江市で唯一のプロスポーツチームである島根スサノオマジックを応援することで市民の地域への誇りや愛着が醸成され、地域活性化へとつながる。

目標　（何を達成するのか）

令和8年からの新Bリーグにおいても、島根スサノオマジックがホームアリーナとして松江市総合体育館で活躍できるよう、B.PREMIER基準に適合するアリーナへ改修し、管理運営は民間活力を活用する。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
B1リーグ（松江市開催）平均観客数（人）	4,117	0	4,000	4,000	4,000

事業概要

（数値目標の目標年度）
項目名　B1リーグ（松江市開催）平均観客数：2029（R11）年度
B.PREMIER基準に適合するアリーナの改修及び機能強化を図るための改修業務
＜松江市総合体育館改修整備管理運営事業の概要＞
①主な改修内容
　観客席の5,000席確保、スイート・ラウンジの新設、トイレの増設、飲食関連施設の設置
　メイン・サブアリーナLED照明への改修、既存トイレに温水洗浄便座を設置
　センタービジョン大型化＆リボンビジョン新設
②管理運営
　10年間の指定管理（維持管理・運営）

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・実施設計 ・改修工事	・改修工事 ・管理運営（指定管理）	管理運営（指定管理）

達成度

計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		39,930	0	1,495,864	2,104,041	2,104,041
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	3,600	0	118,000	164,500	164,500
	その他	35,937	0	1,376,947	1,939,541	1,939,541
	一般財源	393	0	917	0	0
歳入合計		39,930	0	1,495,864	2,104,041	2,104,041

課題	方向性
物価高騰による事業費増	工事進捗状況を市ホームページ等で周知

文化スポーツ部スポーツ施設課　　松江市総合体育館改修整備管理運営事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	松江市総合体育館改修整備管理運営事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	4月～8月	改修工事		
	9月～	管理運営（指定管理）		

本事業に関する主要データ

令和6年度当初予算において、B.PREMIER入会基準に適合するアリーナへの改修及び機能強化を図るための改修と、改修後の施設の維持管理・運営について、一体として事業実施するため債務負担行為を設定。

令和7年度6月補正予算において、センタービジョンの大型化とリボンビジョン新設に伴う増額分を債務負担行為設定。

○全体事業費　45億3,518万円（期間：令和6年度～令和18年度）
　うち実施設計、改修工事　36億3,983万円（期間：令和6年度～令和8年度）
　うち維持管理・運営　8億9,535万円（期間：令和8年度～令和18年度）

○スケジュール

内容	時期
契約	令和6年7月
設計・改修等	請負契約締結日～令和8年8月末日
運営開始	令和8年9月～

★主な地方債：脱炭素化推進事業、緊急防災・減災事業

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	2,104,041		
事業費計		2,104,041	

令和8 年度　総合計画実施計画

所属	事業名
文化スポーツ部スポーツ振興課	島根かみあり国スポ・全スポ事業費

事業の目的と目標

目的　（何のために）

令和12年(2030年)に島根県で開催される「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会」の運営準備を円滑に推進し、大会を成功させることを目的とする。

目標　（何を達成するのか）

松江市で開催される大会の競技団体や関係機関と連携を図り、先催市準備状況を視察・情報収集を行いながら、競技大会の成功に向けた準備を進める。

数値目標

項目（成果指標）	R6実績	R7実績見込	R8計画	R9計画	目標値
数値目標とすることに馴染まない。					

事業概要

・第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会（愛称：島根かみあり国スポ・全スポ）が、令和12年(2030年)に島根県で開催される。
・松江市では、国スポ・全スポあわせて19競技を実施する予定としており、準備委員会を設立し、競技会の運営、交通・輸送、宿泊・衛生、広報によるPRなど大会を円滑に運営するための準備をおこなう。
◎松江市において開催する競技
【国民スポーツ大会（国スポ）競技】　正式競技　11競技　特別競技　1競技　公開競技　1競技
【全国障害者スポーツ大会（全スポ）競技】　個人競技　3競技　団体競技　3競技

事業の成果及び実績

R7実績見込	R8計画	R9計画
・令和8年1月15日に第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会松江市準備委員会を設立し総会・常任委員会を開催。 ・大会開催方針や開催推進総合計画等を策定。	・総会、常任委員会のほか専門委員会を開催し、宿泊・輸送交通など各種計画を策定。 ・大会開催地等の視察や大会のPR活動を実施。	・大会開催3年前となる令和9年度には、大会の開催および会期が正式に決定される予定であり、準備委員会を実行委員会へ改編し、より詳細な計画の策定など、具体的な準備に取り組む。

達成度

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R6	R7		R8	
		決算	予算	決算見込	予算	予算前年度比較
事業費		0	0	0	3,457	3,457
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	3,457	3,457
歳入合計		0	0	0	3,457	3,457

課題	方向性
島根県では、昭和57年（1982年）の「くにびき国体」以来、48年ぶりの開催であり運営について不明な点が多い。	各競技団体と情報共有しながら大会に向けた運営準備を進めるとともに、経費の積算をおこない、効率的な大会運営にむけた検討を進める。

文化スポーツ部スポーツ振興課　　島根かみあり国スポ・全スポ事業費

松江市総合計画	基本目標	つながりづくり
	基本施策	スポーツが松江の存在感を高めた
	主要施策	島根かみあり国スポ・全スポ事業

	時期	実施内容	時期	実施内容
R8スケジュール	5月	各専門委員会の開催	11月	長野国スポ開催準備状況視察
	6月	総会・常任委員会の開催	12月	青森国スポ事業概要説明会
	7月・8月	宮崎リハーサル大会視察		
	9月・10月	青森国スポ・障スポ視察		

本事業に関する主要データ

R8節別予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	3,457		
事業費計		3,457	